



許 免 權 版

中島 操編輯

小學文法書

下野朽木町

萬象堂藏版

911
5101

門利2
號499
卷

東京書局
藏書

藏書

日本文法書序

余嘗讀古記傳。觀于其世。而竊有感。語言文字之變焉。夫本邦文章之道。初闢天絲。八雲之詠。然白鳳。朱鳥之際。風氣淳樸。藻華未著。是為萬葉之時矣。大寶定令。弘仁立格。施及延喜。禮樂文章。粲然大備。是為古今之時矣。文治建久之。間。大權下移。公卿優游。抽中摘蘂。而天下之文。因循陵夷。是為新古今之時矣。降及應仁。天下

小學文法書

萬象堂藏版

明治二年八月十日
萬象堂藏版

大亂。戎馬騷擾。斯文殆乎墜矣。雖間有著佐。莫足復觀者。元和偃武後。奎運隆泰。文士輩出。競為辭章。而其流風之所弊。新艷自喜。神骨消亡。天綵之遺法。愈久而翕亡矣。吾友中嶋乘陰。有慨乎此。頃慕述斯書。蓋乘陰學既有淵源。尤用意於古文。以復古為己任。故其所論。徵典故於古今。合規模於內外。自編章字句。迄照應段落。字櫛句爬。絲分縷析。細大無遺。可謂繼將墜之

遺法。興不甚振之文。其功偉矣。昔者豐公之出師海外也。曾荅或問曰。吾此行。將使彼用我文耳。若使此書出心之班。則必曰。豎子善贊吾志也。

明治十一年戊寅十月

小嶋孚玄壽氏撰

小學文法書緒言

一地球上人民ノ住スル所、處トシテ言語アラザル
 ナシ言語アレハ自ラ法アリ是自然ノ文法ニシ
 テ人意ニ出ルニアラズ然レ氏世ノ漸ク開クル
 ニ從ヒ各國ノ人民相雜住スルアリ或ハ他國ニ
 來往スルアリテ竟ニ言語相錯雜シテ辨別シ難
 キニ至ル是レ各國各文法ヲ定メサルヲ得サル
 所以ナリ

一我邦往古ノ如キハ言語モ自ラ正タシテ毫モ紊
 亂スルヲ無カリシニ漢學ノ國內ニ傳播セシ以

来語法大イニ亂レ終ニ自他ノ區別ナキニ至レ
リ是ニ於イテカ偶々二三ノ和學者派アリテ之
ヲ憂フルト雖其言フ所或ハ今世ニ適切ナラ
ス却リテ識者ノ笑ヲ来スニ至ル豈慨嘆ス可キ
ニアラズヤ

一我國語學ノ龜鑑トナス可キモノ本居氏ノ著述
セラレシ紐鏡詞ノ八衢等ノ書アレ氏是レ純然
タル國語ニシテ現今普通ノ學ニ非ス又近世ニ
至リ文法ヲ論セシモノ尠カラズト雖氏或ハ密
或ハ粗ニシテ小學ノ生徒ニ適スルモノ稀ナリ

因リテ余今詞ノ八衢詞ノ玉ノ緒紐鏡等ヲ參考
シテ其要ヲ採集シ之ヲ現今普通ノ文ニ照シ一
書ヲ編集シテ名ツケテ小學文法書ト云フ

一此書ハ通編ヲ字學、辭學、文章學ノ三部トス而ウ
シテ其辭學ニ至リテハ西洋語學ノ法則ニ倣ヒ
分チテ八品詞トシ以テ記憶ニ便ス又毎編例言
ノ如キハ專ラ普通ノ文ヲ舉ケ以テ幼童ニ解シ
易カラシム世ノ小學生徒等若シ此ニ由リテ學
ヘバ則我語法ノ概要ヲ知リ自他ノ區別ヲ失ス
ルガ如キ過無カル可シ然レモ一國ノ文法ヲ一

定スルヤ固ヨリ重大ノ學ニシテ我輩淺學寡聞
 ノ企テ及フ所ニ非ズ故ニ只管古人ノ定則ニ由
 リ、現今普通ノ言語ヲ正スニ過ギス國語ハ奧旨
 ニ至リテハ則之ヲ博雅ノ君子ニ望ム
 明治十一年十二月
 編者 誌



小學文法書卷之上

中島音操編

文法書ハ正ク説語ヲナシ或ハ事ヲ記シ文章ヲ
 綴リ或ハ書ヲ讀ムノ法則ヲ明ラムルノ學ナリ
 之ヲ分チテ三部トナス即第一字學、第二辭學、第
 三文章學是ナリ
 字學
 字學トハ文字ノ性質即母音、子音、及ビ其發音法



ヲ示シ又假名用格及ビ音便等ヲ詳ニスルモノ
ヲ云フ而シテ文字ハ則辭ノ基礎ニシテ其數僅
ニ五十ナリ之ヲ名ツケテ五十音ト云フ今之ヲ
左ニ掲グ

五十音圖

ア	イ	ウ	エ	オ	成喉音
カ	キ	ク	ケ	コ	顎齒音
サ	シ	ス	セ	ソ	舌齒音
タ	チ	ツ	テ	ト	舌剛音

ナ經 ナ ニ ヌ ネ ノ 舌柔音

ハ經 ハ ヒ フ ヘ ホ 外唇音

マ經 マ ミ ム ノ モ 内唇音

ヤ經 ヤ レ ユ イ ヨ 顎喉音

ラ經 ラ リ ル レ 口合舌頭音

ワ經 ワ ヲ ヱ ヲ 唇喉音

右ニ掲グル所ノ五十音ヲ母音子音ノ二種トス
母音トハ他ノ音ノ助ナキ獨立單純ノ音ヲ云フ
即チイウエオ是ナリ子音トハ他ノ音ノ助ヲ俟
チテ初メテ成ル所ノ複合ノ音ヲ云フ即母音ヲ

除クノ外四十五字ハ悉ク子音ナリ何故ニ子音
ト名ツクルヤヲ考フレバ先カキクケコノ音ヲ
發セントスルニカトイヘバ同經ノクノ字ハ母
音ノアノ字ノ助ヲ得テクアトナリ其中音即カ
トナルナリ又クトイト合シテキトナリクトウ
ヲ詰メテウトナリクトエト合シテケトナリク
トオト合シテコトナルノ類ニシテ其他ノ音モ
皆ウ緯ノ字ガ母音ノ助ニ依リテ始メテ一音ヲ
發スルモノナリ容易ニ其法ヲ知ラント欲スレ
バカー、キー、クー、ケー、コー、サー、シー、スー、セー、ソ

ト長クヒキテ呼ブ片ハ何レノ音モ皆其音尾
ニアイウエオノ五字ヲ含マザルナシ是即母音
ノ助ヲ藉リテ始メテ音ヲ發スルノ確證ナリ
五十音中濁音トナルモノアリ又次清音トナル
モノアリ其例左ノ如シ
濁音
ガギグゲゴ
ダヂヅデド
次清音
ハ
フ
ホ

右ニ舉ゲル所ノ音ハ口調ニヨリテ發スルモノ
 ニメ辭ノ言ヒ出シニアルトナシ假令バ濁音ハ
 紅葉ノガ 躑躅花ノジ 永々ノガ 望月ノ
 ツ 落葉ノバ等ノ如シ又次清音ハ唇ニテ彈マ
 呼ブモノニシテ假令バ 專ノバ ヤツパリ 張矢
 ノバ 月波ノバ 一匙ノビ 寒風ノブ 天邊
 ノベ 日本ノポ等ノ如ク字音ノ上ヲ跳ネ或ハ
 和語ヲ急呼スル片ニ發スルモノナリ此等ノ音
 ハ往古ハ絶エテ我邦ニアルトナシト雖氏然レ
 氏外國語ノ傳來セシ以來終ニ我國語トナリシ

モノナリ右ノ外ニ音アレ氏元ムヨリ轉化セ
 シモノニシテ半舌半鼻ノ音ナリコレモ亦往古
 ハ絶エテナキトナレ氏中古以降漸々人氣ノ峻
 シクナルニ從ヒ言語モ從ヒテ變ゼシモノナリ
 此ノ如ク口調ノ為メニ種々ノ變音ヲ生ズルト
 雖氏其原ヲ考フル片ハ固ヨリ五十音ノ外ニ出
 ツルモノナシ又古ハ詞ノ音モ正シクシテイレ
 エエウ子ノ用方ノ如キモ各差異アリト雖氏現
 今ニ至リテレエ子ヲ省キ只イエウノミヲ用ウ
 ルトトナレリ又本邦ノ古音ニハ絶エテアルト

ナント雖氏外國ヨリ傳來シ終ニ我國音ニ混ゼ
シモノアリ之ヲ拗音ト云フ假令バ チャイヤミ
ズイツクヌウ等ノ如シ此等ハ我國音ニ非スト雖
氏支那語及ビ歐米各國ノ譯書ヲ讀ムニ當リテ
ハ最モ多キモノナレバ童蒙ノ其理ヲ了解セン
コヲ欲シテ故ラニ此ニ贅言ヲ附スルモノナリ
即支那語ニハ茶チャ夜ヤト云フ如ク英國語ニハ音樂ミョク
イズイツク甘カン蔗サヲスガルルル美麗メイヲウヅクテイトト云フ如シ
又省字或ハ合字ヲ用キテ恰モ假名ノ如キ符合
トナスモノアリ即ニ寸片シ氏ハノ是ナリ此中ニ
ハ(也)ノ省字、コトノ合字、寸ハ(時)ノ省字、片ハ

トキノ合字、氏ハ(トモ)ノ合字、ハ(シテ)ノ合字ニ
シテ共ニ一字ノ形ヲナセシモノナリ
假名用方

言語文章ヲ記スルニ其法則ニ差ハズ正ク假名
ヲ用ウルノ方ヲ務ムルヲ假名用格ト云フ其用
方ヲ容易ニ知ラント欲セバ先ツ誤リ易キ假名
ト詞ノ上、中、下ニ因リテ各差異アルヲ明カニ
セザルベカラズ故ニ今其概略ヲ左ニ掲グ
誤リ易キ假名
口、ハ、イ、中、ヒ、ウ、フ、エ、エ、へ、オ、ヲ、ホ、ヂ、ジ

ズ、ツ

右ノ用方ニ於テ誤リ易キノ理ハ本音、通音ノ條
下ニ説示セン

詞ノ上ニアル假名

ワ イ ウ エ オ

詞ノ中ト下トニアル假名

ハ ビ フ ヘ ホ 斗 エ ラ

此等ノ中キエヲヲ稀ニ詞ノ上ニ用キイエヲ下
ニ用ウルヲアレ氏オハ下ニ置クヲ絶エテナシ
又通常詞ノ中ト下トニ用ウル假名ト雖氏亦詞

ノ頭字トナル片ハ此例ニアラザルナリ

本音及通音

本音トハ文字ノ本然ノ音ニシテ口イウエオノ
五字ヲ云ヒ通音トハ口調ニヨリ上ノ五音ニ通
ヒタルハヒフヘホノ五字ヲ云フ今其例ヲ左ニ

掲グ

ハニ二個ノ通音アリ其一口トアノ中間ノ音
ニシテ即澤ヲサワ栗ヲア口河ヲカ口終ヲオ
ワリト云フガ如キハ本音ノ口ニ通ヒタルナ
リ其二口調ニヨリテ他音ニ通ヒウトナルモ

アリ即箒ヲハウキ吹草ヲフイガウ河野ヲカ
ウノト云フ如シ
ヒニ二個ノ通音アリ其一イニ通フ音即貝ヲ
カイ鯛ヲタイ灰ヲハイ間ヲアイダト云フ如
シ其二ウニ通フ音即商人ヲアキウド獵人ヲ
カリウド弟ヲトウトト云フノ類ナリ
フニ三個ノ通音アリ其一ウニ通フモノ即云
ヲイウタヲユウベ吸ヲスウ閨ヲウルウト云
フ如シ其二オニ通フモノ即今日ヲケオ倒ヲ
タオル扇ヲアオギト云フ如シ此フハ一旦ホ

ニ通ヒホヨリ復オニ通ヒタルナリ其三ムニ
通フモノ即侍ヲサムラヒ葬ヲホウムル蒙ヲ
カウムルト云フノ類ナリ
ヘニ二個ノ通音アリ其一エニ通フモノ即上
ヲウエ苗ヲナエ歸ヲカエル家ヲイエト云フ
如シ其二ウニ通フモノ即卿ヲマウチギ之事
ヲツカウマツルト云フノ類ナリ
ホニ一個ノ通音アリ即顔ヲカオ猶ヲナオ氷
ヲコオリ赤穂ヲアカオ庵ヲイオリト云フノ
類ナリ

又ジチズツノ假名ハ皆音便ニテ濁ルモノナレ
ハ其清音ヲ求ムル片ハ決シテ其用字ヲ誤マル
トナシ假令バ 富士山 血山路 物好
近付 朧ト云フカ如キハ其清音ノチスツヲ
濁リシトヲ知ル詞ノ上ニアリテハ必ズ此ノ
如キ音便ノ例アルトナシ
音便ニヨリ母音ニ歸スルモノ
此類ハ皆詞ノ中ト下トニアリテ口調ノ好カラ
シ為ノ母音ニ歸シテ呼ブモノナリ即クシキノ
三字是ナリ假令バ 斯ヲカウ能ヲヨウ冊子ヲサ

ウシ辛ヲカライ幸ヲサイハヒ 衝立ヲツイタ
テト云フ如シ
マミムノ二音ハ口調ニヨリウニ變ズルコト
アリ假令ハ マヨリウニ轉スルモノハ 給ヲ
タウベニヨリウニ轉スルモノハ 上野ヲカウ
ツケ小路ヲコウケ手水ヲテウヅ 髮搔ヲカウ
ガイト云フノ類又ムヨリウニ通フモノハ 日
向ヲビウガト云フ如シ
此等ノ外ミムモニリハヒホウノ音ハ口調ノ
好キニ從ヒシトナルトアリ假令バ 朝臣ヲア

ソニ公等ヲキンダチ簪ヲカンザシ汝ヲナン
 子譽田ヲホンダ懇ヲネンゴロ何ヲナシゾ焉
 フイツクンヅ退ヲマカシテ殿ヲシシガリ童
 部ヲワランベ及ヲオヨシテ並ヲナランテ慮
 ヲオモンパカル殆ヲホトシド媪ヲオンナト
 云フノ類ナリ

右ノ外又訛リテ他ノ音ニ遷リ全ク其本音ヲ失
 ヘルモノアリ假令バチリウフノ四音ハ訛リテ
 ツト呼ブコアリ即持ヲモツテ克ヲカツテ取ヲ
 トツテ夫ヲオツト新田ヲニツタ貴ヲタツト

シト云フ如シ

前ニ擧グル所ノ通音及他音ニ變ズルモノハ口
 之ヲ唱フルモ言事ヲ記スルモノニ非ズ故ニ口
 常ニ之ヲ唱フルキハ遂ニ習慣トナルモノナレ
 バ平素ノ說話ト雖モ務メテ避クルヲ良トス
 ○前文已ニ論ゼシ如ク假名ハ總メテ上中下ノ
 差異アルモノニメ妄リニ用ウベカラザルモノ
 ナルニ因リ今其格別ナルモノヲ左ニ掲ク

上ノ中

豚チウ 蝶キモリ 蝶キモリ 膝行キザリ 田舎キナカ 臀キザライ

童子 ウナキゴ

馬鬣松 ウナキマツ

中ノ年

慈姑 クワキ

紫陽花 アサザキ

大炊 オホキ

藍 アイ

紅 ベニ

宿直 トキ

住居 スマキ

下ノ年

鶺鴒 ハイクカ

餉 カシヒ

序 ノイデ

茂 ナカシ

刃 ヤス

秀 ヒメ

於揆 サイシチ

中ノイ

權 カイ

筭 カシ

老 オシ

鷓鴣 ミンサバ

報 ウケ

悔 クイ

中ノ工

鶺鴒 ヒエトリ

萌黃 モエギ

稗 ヒエ

肥 ヒ

轅 ウチ

鷓 ヒエ

絶 タツ

消 キユ

榮螺 ササエ

生 ハエ

燃 モエ

下ノ工

上ノ工

笑顏 エガハ

槐 エビ

醜 ウツシ

畫工 エガキ

彫 ウツル

繪合 エガハヒ

靨 エガハ

中ノ工

陶 スエモノ

微笑 ホエガハ

下ノ工

机 シヨ

杖 シヨ

巴 トシ

飢 ウエ

梢 シヨ

故 コト

上ノ工

男 ヲシ

女 メ

芥 カイ

折 オリ

伯父 ハクフ

弟 ケイ

菽 シヨ

岡 オカ

稚子 コナリ

中ノヲ
鉦クマ 婀娜ナメ 小雄鹿サヲシカ

下ノヲ
青アヲ 魚ウヲ 竿サヲ 堅魚カッヲ 水脈スイマク

下ノウ
飢ウ 植ウ 用モウ

漢字音便ノ例

漢字ハ皇國固有ノモノニ非ズト雖也而モ現今
普通ノ語トナリシニヨリ一般國語トナシテ之
ヲ論スレバ其音便ハ如キモ亦必竟辱舌牙齒喉

ノ自在ノ開闔ニ因リテ母音ニ歸シ新ニ下音ヲ
發スルノ理ヲ章蒙ヲメ知ラシメンタメ其例ヲ
左ニ掲ゲ

○二字相重リタル片上ノ字音ヲ跳ネ或ハ詰メ
タル片口調ノ好キニ從ヒ他音ニ變シ呼ブコト
アリ假令バ寒鴉カンアヲカシナシ春蛙シュヱヲシユシナシ姻婭インア
ヲイシナシト云フ如シ此例ニ於キテハ凡ベテ上
ノム即シト跳ネタルガ故唇合シテ舌頭上顎ニ
着キ其唇ヲ和ニ開ク片ハ舌頭ニ自然ヌノ如キ
音ヲ生ズ而シテ急ニ下ノ字音ノアヲ合セ呼ブ

故ニヌア即ナトナルナリ
 ○又ワヨリナトナルアリ即宣和ヲセシナ仁和
 ヲニシナ親和ヲシシナト云フ如シ此等ハ下且
 アニ通ビ復アヨリナトナリシナリ
 ○紛紜ヲクシヌン云々ヲウシヌント云フガ如
 キハ上ヲント跳ネタル故ニ下ヲヌト云ヘバ自
 然其母音ウニ歸スルヲ以テ口調ニヨリ斯ク呼
 ブモノナリ
 ○アウワウヨリナウオウヨリノウトナルアリ
 假令バ天殃ヲテンノウ天皇ヲテンノウ勤王ヲ

キンナウ金甌ヲキンノウ感應ヲカンノウ玄翁
 ヲゲンノウ等ト如シフ此等前アワヨリナトナリヌ
 オヨリノトナルノ例ニ同シ
 ○イウヨリニウトナリイヤウヨリニヤウトナ
 ルアリ假令ハ圓融ヲエンニウ陰陽ヲインニヤ
 ウト云フバ類ハイヨリニトナルノ例ニ同ジ
 ○インキンヨリニントナルアリ假令バ延引ヲ
 エンニン門院ヲモンニント云フ類ニメ上ヲ跳
 ネタル故ニ其音尾ニヌノ如キ音ヲナスヲ以テ
 下ノイキト合シテニトナルナリ

○アンヨリナントナルアリ假令バ新安ヲシ
 ナン澹庵ヲタシナン金鞍ヲキンナン偏安ヲヘ
 ンナン僮案ヲセンナント云フノ類ニシテ前ノ
 アワヨリナトナルニ同シ

○エウエヲヨリネウ、ネフ、トナリ、エインヨリネン
 トナルアリ假令ハ肝要ヲカンネウ、山腰ヲサン
 ネウ、萬葉ヲマン、ネフ、因縁ヲインネン、ト云フノ
 類ニシテ元來ネノ音ハ又エノツマリタルモハ
 ナルガ故ニ舌頭ヌノ如キ音ト下ハ字ハエハ音
 ト合シテネトナルナリ

○オンヲシヨリノシトナルアリ假令ハ觀音ヲ
 クワンノン安穩ヲアンノン天恩ヲテンノント
 云フノ類ニシテ前ノオヲヨリストカハ例ニ
 同シ

○インヨリチン、トナルアリ假令バハ音ヲハツ
 チン、厥陰ヲケツチン、雪隠ヲセツチン、ト云フノ
 類ニシテ上ノ音ヲツト詰メテ呼ブ故ニチント
 ナルナリ元來チノ音ハツイヨリ出テタルモノ
 故ニ語勢ニ因リチント云ヘバ自ライノ音ヲ會
 蓄スレバナリ

○上下共ニ一字ノ假名ニシテ下ノ濁ラザルハ上ノ字ニウヲ餘音ニ呼ブトアリ假令ハ夫婦ヲフウフ富貴ヲフウキ夫子ヲフウシト云フ如シ是全ク口調ノ好キラ取ルニ因レバナリ以上論スレ如ク發音ノ千變万化スルハ音ノ自然ニシテ一モ強フルニ非ザルナリ

練法

假名用格本音通音及和漢音便解剖
 假名用格本音及和漢音便ノ理ヲ知ラシメシ為メ左ニ一例ヲ設ケテ以テ兒童ノ考案ニ供

ス

例

後醍醐天皇ハ後宇多天皇ノ皇子ナリ天皇北條氏ノ權ヲ專ニスルヲ怒リテ是ヲ誅滅セントス事泄ル高時兵ヲ遣シテ京師ヲ襲ハシメントス天皇潛ニ笠置ニ幸シ楠正成ヲ召シ興復ノ事ヲ委ヌ東兵遂ニ來リテ笠置ヲ破リ天皇ヲ隱岐ニ遷ス高時皇太子量仁ヲ奉シテ帝トスコレヲ光嚴天皇ト稱ス後伏見天皇ノ皇子ナリ正成兵ヲ河内ニ舉グ新田義貞上野ニ

起リテ北條高時ヲ誅シ足利尊氏歸順シテ賊
黨皆亡ブ是ニ於テ車駕官ニ還ル尊氏功ニ誇
リテ異志アリ因リテ義貞ヲシテ追討セシム
戦利アラズ正成亦湊川ニ戦死ス天皇遂ニ吉
野ニ幸ヌ尊氏豊仁親王ヲ奉シテ帝トスコレ
ラ光明天皇トス即光嚴天皇ノ同母弟ナリコ
レヨリ分レテ南北兩朝トナル

辭學第一篇

詞トハ即人意ニ感ジテ聲ニ發シ說話ヲナシ或
ハ章句ヲ綴ルモノヲ云ヒ而シテ其種類及變化
活動用法等ニ就キテ論スルモノヲ辭學ト云フ
言辭ハ宇宙間ノ萬物ニ關スルモノニメ其數極
マリナシト雖モ今之ヲ分チテ八種トナス即名
詞代名詞形容詞動詞副詞後置詞接續詞感詞一
數息是ナリ

名詞

名詞トハ總ベテ天地間ニ現レタル物体ノ名稱

ヲ云フ又形体ヲ具ヘズメ五官モ之ヲ辨識シ得
 サルモノ、名稱ヲ無形名詞ト云フ故ニ名詞ヲ
 分チテ有形無形ノ二類トス又他ノ詞ヨリ來ル
 モノモ名詞ノ位置ヲ取ルルハ悉ク名詞トナル
 モノナリ而シテ又總ベテノ名詞ハ之ヲ概メ固
 有ト普通トノ二種トナス

有形名詞

有形名詞トハ五官能ク觸レ得ベキモノ、名稱
 ヲ云フ假令ハ人、獸、鳥、魚、昆虫、草木、山川、海、陸等ノ
 名稱ノ如キ是ナリ

文例

- 第一 太郎ハ、學ブ、
- 第二 次郎ハ、遊ブ、
- 第三 狗ハ、吠ユル、
- 第四 鳥ハ、飛ブ、
- 第五 魚ハ、游グ、
- 第六 虫ハ、這フ、
- 第七 草ハ、茂ル、
- 第八 山ハ、地上ニ高起ス、
- 第九 海ハ、諸水ノ集合スル處ナリ、

第十 陸地ハ總ベテ草木ヲ以テ之ヲ覆フ、

右ノ例ニ於キテハ太郎 次郎 狗 鳥

魚 虫 草 水 山 海 陸地 木等ハ

形体ヲ以テフルモノ、名稱ナルニ因リ之ヲ

有形名詞ト云フナリ

無形名詞

無形名詞トハ五官ニ觸レ得ザルモノ、名稱ヲ

云フモノニメ假令バ仁、義、禮、智、信、道、德、材、能等ノ

類是ナリ

文例

第一 仁ハ、人ノ安宅ナリ、

第二 義ハ、人ノ正路ナリ、

第三 禮ハ、欠ベカラザルモノナリ、

第四 道ハ、須臾モ離ル可カラズ、

第五 德ハ、固有ノモノナリ、

第六 材能ハ、研磨ニ因リテ成ル、

右ノ例 於キテ仁、義、禮、道、德、材、能等ノ如キ

ハ形体ヲ具ヘズ唯想像ヲ以テ一物ト為ス

故ニ無形名詞ト云フナリ

固有名詞及ビ普通名詞ノ別

固有名詞トハ人名地名ノ如キ宇宙間總ベテ獨立ノ物ノ名ヲ云フ假令バ太郎東京富士山等ノ如キ是ナリ

文例

- 第一 太郎ハ學ブヲ好ム、
 - 第二 東京ハ王城ノアル所ナリ、
 - 第三 昔時富士山ハ火山ナリト云ヒ傳ヘリ、
- 普通名詞トハ物同ジケレバ世上必々其名ヲ同
 タスルモノヲ云フ假令バ鳥魚草狗
 等ノ如キ是ナリ

五、四文例

- 第一 鳥ハ空中ニ飛ブ、
 - 第二 魚ハ水中ニ生活スルモノナリ、
 - 第三 草ハ茂ル、
 - 第四 狗ハ吠ユル、
- 生徒ヲメ前ニ陳ブル所ノ二類ノ名詞ヲ區分セ
 シメン為メ左ノ文例ヲ舉グ
- 文例
- 第一 彼ハ、阪府ニ住ス、
 - 第二 此本ノ持主ハ、誰ナルヤ、

- 第三 小町ハ、古ノ美人ナリ、
- 第四 女兒ハ、歌フ、
- 第五 男兒ハ、走ル、
- 第六 雞ハ、穀ヲ食フ、
- 第七 狗ハ、童子ト共ニ走ル、
- 第八 家ハ、人ノ棲所ナリ、
- 第九 車ハ、兩輪ヲ具フ、
- 第十 電ハ、空際ニ光ル、

練法

左ノ例ニ於キテ何レガ固有名詞ナルヤ又普通

名詞ナルヤヲ分チ兼ネテ有形、無形ヲ分解スベシ

- 筆 獨樂 賢キ 偶人 動ク 小町 而メ
- 小刀 黒キ 辨慶 象庶 鳥 強シ 灌
- 木 存ス 亡ブ 石盤 有ル 智慧 情
- 机案 汝 柔和ナル 町 荷車 鞍 親切
- 川 ナル 園

代名詞

代名詞トハ說話及ヒ文章中ニ於キテ屢々同名詞ノ反復ヲ省ク為メニ人或ハ物ノ名ノ代リニ

用ウル詞ヲ云フ假令バ我^ワ 汝^ニ 彼^{カレ} 是^{コト} 此^{コト}
誰^{タレ} 何等ノ類是ナリ

文例

第一 我^ワハ汝^ニノ幸ナルヲ欲ス、

第二 三^ニ郎^ハハ庶人ノ愛ヲ受ク、此レ彼ハ常ニ

礼讓ヲ守ルノ故ナリ、

第三 此人ハ英國ノ産ナリ、

第四 乳養動物トハ、人獸ノ如キモノ即是ナ

練法

左ノ例ニ於キテ名詞及ビ代名詞ヲ索出スベシ

餅 其 然リ 此レ 雖^モ 之 此等 釘

我 草 汝 石炭 如何 嗚呼 自 抑

耐忍 吾曹 甚 東 我輩 爾 僕 満

ツ 彼 悦ブ 彼輩 足下 山

形容詞

形容語ハ事物ノ模様ヲ言ヒ顯ス為メニ名詞ノ
前ニ用ウル詞ヲ云フ而メ其種類甚タ多シト雖
モ今其重ナルモノヲ左ニ掲ク

假令バ甘キ林檎 酸キ林檎ト云フ句ニ於キテ

ハ甘キ及ビ酸キト云フ詞ハ形容詞トナル如
 何トナレバ此等ノ詞ハ林檎ノ性質ヲ言ヒ顯
 セバナリ又大イナル林檎 小サナル林檎ト
 云フキハ其大イナル 小サナルトハ林檎ノ
 形状ヲ言ヒ顯スタメニ用キタル形容詞トナ
 ル又白キ林檎 赤キ林檎 黄ナル林檎ト云
 フニ於キテハ白 赤 黄ハ林檎ノ色即形容
 ヲ示セシモノナリ又諸人 或ル人 僅ノ人
 ト云フキハ諸 或ル 僅ノトハ其人ノ數ノ
 多少ヲ示ス為メニ人ト云フ名詞ヲ形容スル

モノナリ

形容詞ノ例

惡キ人 善キ人 弱キ馬 強キ馬 短キ杖
 二個ノ小刀 熟シタル梨子 甘キ林檎
 多クノ童子 或ル桃 短キ日 長キ日 温
 ナル日 寒キ日

右ニ舉グル所ノ形容詞ハ心情、力量、外形等
 ニ因リテ皆下ノ名詞ヲ形容セシモノナリ

練法

左ノ詞ノ中ヨリ名詞、代名詞、形容詞ヲ索出セヨ

賢キ 大イナル 氷 熟シタル 則 管
 惡キ 硝子 高キ 低キ 我 拂フ 甘キ
 大陽 赤キ 月 夜 晝 朝 線 強キ
 彼 盃 草 謙遜 高慢ナル 日 美麗
 ナル 大陰 負ヒ 大洋 廣

動詞

動詞トハ文主即主格ノ作動ヲ顯スモノニシテ
 言語及ビ文章中ニ此詞ヲ欲ク片ハ充分ノ意味
 フナサズシテ文体ヲ失フモノナリ而シテ又之ヲ
 自動詞他動詞ノ二種トナスノ自他共ニ能動受動
 別アリテ法時限

活用等之ニ屬スト雖モ辭學第二篇ニ讓リテ茲
 ニハ只作動ノ模様ト自他ノ區別ヲ舉ゲルニ過
 ズキ

動詞ハ說話及ビ文章中ニ要用ナリト云フモノ
 ハ他ナシ假令バ 風ハ西ニ 雨ハ未ダトノミ
 云フ片ハ其何ノ義タルヲ解スベカラスト雖
 氏亦之ニ動詞ヲ加ヘテ風ハ西ニ吹ク 雨ハ
 未ダ降ラスト云ヘバ其文意始メテ明了ナル
 ガ如キ是ナリ
 動詞ノ例
 啞ム 飛ブ 考フ 睡ル 這フ 笑フ 没

ス 輝ク 吹ク 鳴ル 歌フ
 右ニ掲ゲル所ノ動詞ヲ言語及ビ文章ニ用ウ
 ル片ハ假令バ 狗ハ人ヲ噛ム 鳥ハ飛グ
 人ハ考フ 蛇ハ這フ 小兒ハ笑フ 大陽ハ
 没スル 星ハ輝ク 風ハ吹ク 雷ハ鳴ル
 女兒ハ歌フト云フノ類ハ噛ム及ビ飛グ等ノ
 動詞ハ狗及ビ鳥ト云フ主格ノ名詞ノ作動ヲ
 示スモノニシテ自餘ノ動詞モ皆其文主ノ作
 動ヲ顯スモノナリ

練法

左ノ數多ノ詞ヨリ動詞ヲ索出スヘシ

速ナル 書ク 人 童子 少キ 多キ 甘
 キ 僅ナル 行ク 人 泣ク 融解スル
 我 精神 青キ 白キ 見ル 示ス 遅キ
 迄 軍勢 獸 戦フ 悦ブ 碎ク 留ム
 ル

自動詞及ビ他動詞ノ別

自動詞トハ主格ノ作動ノミヲ示シ其作動ノ他
 ノモノニ及達セザルモノヲ云フ假令バ 人
 が睡ル 山ハ聳ユ 狗ハ走ルト云フ片ハ睡

ル 聳ユ 走ルト云フ動詞ハ他ノ物体ニ移
リ行カズシテ獨自ラ終ル故ニ之ヲ自動詞ト
云フ

他動詞トハ文主ノ作動ガ他ノ物体ニ及達スル
モノヲ云フ假令バ 小兒ガ花ヲ折ル 狗ハ人

ヲ吠ユル 蜂ハ蜜ヲ釀スト云フノ類ニ於キ
テハ折ル 吠ユル 釀スト云フ詞ハ小兒

狗 蜂ト云フ主格ノ作動ガ林檎 人 蜜ト
云フ物体ニ及達スル故ニ他動詞ト云フナリ

練法

左ノ文例ニ於キテ名詞、代名詞、形容詞、動詞ヲ分
解シ又何レガ自動詞ナルヤ他動詞ナルヤヲ説
明スベシ

文例

第一 彼ハ長キ文ヲ書キ、而シテ之ヲ某ニ送
リシ、

第二 小兒ハ、鳥ヲ捕ヘシ、

第三 女兒ハ徐ニ行ク、
第四 猫ハ、鼠ヲ捕フ、
第五 美麗ナルモノハ、變ジ易シ、

第六 硯ハ、墨ヲ磨ルノ具ナリ

第七 体操ハ、身体ノ健剛ヲ全ウスル為メナ

リ、

第八 彼ハ、甚ダ多能ナリ、

第九 船ハ、出帆ス、

第十 華盛頓^{ワシントン}ハ、大統領ニ推舉サレシ、

副詞

副詞トハ動詞、形容詞、及び他ノ副詞ノ前ニ置キテ猶其有様ヲ詳ニ示ス所ノ詞ヲ云フ假令ハ、
高く飛ブ 甚タ美麗ナル 甚タ速ニ行クト

云フノ類ニメ高く飛ブノ高くハ飛ブト云フ
動詞ノ有様ヲ顯ハシ又甚ダ美麗ナルノ甚ダ
ハ形容ノ等位ヲ示シ甚ダ速ニノ甚ダハ速ニ
ト云フ他ノ副詞ヲ名状セシモノナリ

副詞ハ通常ニ或ハテクノ字ヲ以テ其詞尾ヲ終
フルモノナリ而メ又形容詞及ビ動詞ノ詞尾ヲ
ニ或ハクニ變ジテ副詞トナスコトアリ假令ハ
奇麗ナル、奇麗ニ、濃ナルヲ濃ニ、正キヲ
正ク、好ミヲ好ミテ、疾キヲ疾ク、務メテ
務メテ、慎ミヲ慎ミテニ變スルノ類ナリ

練法

次ノ數多ノ詞ヨリ副詞ヲ索出スベシ

常ニ 通常 一般ニ 行ク 直ニ 慎ム

避ク 百 夙ニ 悞ル 恐ラクハ 美シク

知ル 僅ニ 徐ニ 多ク 保ッ 夜半

ニ 不良ナル 甚ダ 勿レ 懷ク 漫リニ

其 而シテ 若シ 即 汝 濃ニ 屢々

終ニ 寂モ 初 淡ク 薄ク 厚シ

練法

左ノ文例ニ於キテ名詞、代名詞、形容詞、動詞、及ビ

副詞ヲ區分スベシ

文例

第一 彼婦ハ、懇ニ其子ヲ養育セリ、

第二 太郎ハ、勉強スル、

第三 次郎ハ、徐ロニ來ル、

第四 人若シ不善ヲ行ハバ、災必ズ其身ニ及

バン、

第五 清風、簾内ニ入ル、

第六 汝速ニ行カザレバ、恐ラクハ彼ニ後レ

第七 亞非利加ニハ、猛獸甚ダ多クシテ、旅客
往々之ガ為ノニ、命ヲ失フコトアリ、

第八 汝僅ニ一銅錢ト雖、漫リニ之ヲ費ス
勿レ、

後置詞

後置詞トハ名詞或ハ代名詞ノ後ニアリテ其上
下ノ意味ノ關係ヲ顯シ多クハ名詞ノ位置或ハ
作動ノ時限ヲ審定スルモノナリ其例左ノ如シ
假令バ 下野ヨリ岩代マテ總マテ山野多シ
空氣ハ我等ノ周圍ニ充滿ス 夜ノ間ハ日

光ヲ見ズ 生徒ハ師ヨリ學ブト云フノ類ニ
於キテハ下野ヨリ岩代マデノヨリマデトハ
山野ノ有ル位置ヲ示シ兼ネテ互ノ關係ヲ顯
ス又 我等ノ周圍ニノ周圍ハ空氣ノ有ル位
置ヲ示シ 夜ノ間ハノ間ハ日光ヲ見ザル時
限ヲ示シ而シテ此等ノ後置詞ハ我等ト空氣ト
夜ト日光トノ互ノ關係ヲ顯シ又 師ヨリ學
ブト云フハヨリハ師ト云フ名詞ト學ブト
云フ動詞トノ關係ヲ顯セシモノナリ
後置詞ノ重ナルモノハ即ヨリ迄 中外

上下 前後 周圍ニ 内 裏ニ 間 於
キテ 爲ノニ 以テ等ノ如キモノヲ云フ

練法

左ノ文中ニ於キテ名詞、代名詞、形容詞、動詞、副詞、
後置詞ヲ分解スベシ

文例

- 第一 「ジブラルタル」ノ海峽ニ於キテハ、歐
羅巴ト亜非利加トノ距離ハ、僅ニ英里
法二十里ニ過ギズ
- 第二 人タルモノハ、君父ノ為ノニ、宜シク其

カヲ盡スベシ、

- 第三 印度ノ比馬拉亞山ハ、亞細亞洲中第一
ノ高山ナリ、
- 第四 彼ハ、爐ノ前ニ坐セリ、
- 第五 彼女ハ、窓ノ下ニ坐セリ、
- 第六 彼ハ、船路ヲ長寄ヨリ、函館ニ取リシ、

接續詞

接續詞トハ、詞ヲ連ネ句ヲ合セ或ハ章ヲ接キ文
意ヲ連續スルモノナリ假令ハ、水ハ酸素ト水
素トノ抱合ヨリ成ル 鳥獸及ビ昆虫ハ悉ク

動物ナリト云フ片ハトハ酸素水素ノ二詞ヲ
 連ネ及ビハ鳥獸ト昆虫トヲ連續スルモノナ
 リ又 夏ハ炎熱ナリ 冬ハ凜冽ナリト云フ
 二個ノ文章ヲ連續シテ一章トナサント欲ス
 レ片ハ必ス其中間ニ接續詞ヲ用ヅザルベク
 ラズ故ニ雖ト云フ接續詞ヲ入レ 夏ハ炎
 熱ナリト雖ト冬ハ凜冽ナリト云フ片ハ則一
 個ノ文章トナル是中間ニ雖ト云フ接續詞
 ヲ以テ章ト章トヲ連續セシモノナリ中
 接續詞ノ例

而シテ 與ト 亦 如何トナレバ 雖ト
 則 或ハ 並ニ 然レモ 故ニ 其レ故
 ニ等

練法

左ノ文章中ニ於キテ諸詞ヲ分解ス
 第一 空氣ハ熱ヲ得レバ則膨脹シ冷ユレバ
 則收縮スルモノナリ
 第二 寒ト熱ト調和セザレバ動植物ノ成長
 ニ利アラズ
 第三 天ハ善良ニシテ邪辟ノ心ナキ人ヲ惠

第四 汝若シ此地ニ留マラバ、我將ニ行カシ

感詞

感詞トハ人心ノ感動即喜、怒、哀、樂、驚、歎等ヲ言ヒ顯ス為メニ用ウル詞ナリ其例左ノ如シ

歡喜ノ意ヲ發スル片ハ 嗚呼悦バシキ哉

アナウレシ ア、樂シキ哉

悲哀ノ意ヲ發スル片ハ 嗚呼悲シキ哉 噫

天我ヲ亡ボセリ

驚歎ノ意ヲ發スル片ハ 圖ラザリキ 已ナシ 已ナシ等此他又何レノ辭ニテモ感慨ヲ顯ス片ハ悉ク感詞トナルモノナリ 左ノ例ニ於キテ感詞ヲ索出スベシ

例

實ニ 嗚呼 何ゾ 圖ラズ 美ナル哉 宜

ナリ 宜ナル哉 憐ムベシ 甚ダシ 痛マ

シキ哉 然リ 寂久シ

練法

次ノ例ニ於キテ各品詞ヲ分解スベシ

- 第一 石ハ重キモノナリ、
- 第二 盛ナル哉、方今ノ世、
- 第三 彼ハ、巴里利斯ニ行キシ、
- 第四 善イ哉、汝ノ問ヒヤ、共ニ始メテ時世ヲ
説クベシ、
- 第五 神戸港ハ、甚タ繁華ナリ、
- 第六 次郎ハ、文法書ヲ讀ム、
- 第七 少年ノ人ハ、一生中ノ春時ナレバ、宜シ
ク知識才能ノ種子ヲ蒔クベシ、
- 第八 禮ハ教化ノ本ニシテ、人民ノ惡念ヲ止

- メ、善端ヲ開キ、人道ヲ離レシノザルモ
ノナレバ、須臾モ禮讓ノ心ヲ失フベカ
ラズ、
- 第九 美ナル哉、此隆盛ニ至ルトハ、
- 第十 内ニ誠アレバ、色外ニ形ルト、信ナル哉
此言ヤ、

小學文法書卷之上終



小學文法書卷之中

辭學第二篇

前篇既ニ八品詞一般ノ作用ヲ説キタリ故ニ今復更ニ其種類活用或ハ互ノ關係用方等ヲ逐次ニ詳紀ス

名詞ノ品類

名詞ハ本來ノモノト他ノ詞ヨリ轉シ來リテ名詞トナルモノアリ其例左ノ如シ
形容詞ヨリ來ル名詞
形容詞ノ記尾ニコト



小學文法書

卷之二

萬象堂藏反

小學文法書

卷之二

萬象堂藏反

及ビモノト云フ詞ヲ加ヘ熟語トナシ一個ノ名詞ニ用ウルヲアリ又サミ及ビゲノ詞尾ヲ加ヘテ名詞トナスモノアリ假令バ長キヲ長キヲ短キヲ短キヲ美シキヲ美シキヲ醜キヲ醜キヲ重キヲ重キヲト云フ如シ又サミ及ビゲノ詞尾ヲ加ヘテ名詞ト為ストハ即廣キヲ廣サ深キヲ深サ長キヲ長サ廣キヲ廣ミ深キヲ深ミ強キヲ強ゲ重キヲ重ゲト云フ如シ左ニ其文例ヲ舉グ

文例

第一 北亞米利加ノ「シシッピ」河ハ其長サ

大凡一千六百四十餘里ニ達シ地球上

第一ノ長流ナリ

第二 万花中其美シキヲ櫻花ニ過グルモノ

ナシ

第三 富士山ノ頂ナル空洞ハ其深サ幾千仞

ナルヲ知ラズト云フ

形容詞ヲ直チニ名詞ト為スモノアリ假令ハ

青^{アヲ} 黄^{キヲ} 赤^{アカ} 白^{シロ} 黒^{クロ} 淺^{カサ} 深^{コソ} 等是ナリ

形容詞ノ下ニ名詞ヲ畧シテ名詞ノ位ヲ冒スモノアリ假令バ一ヲ聞キテ十ヲ知ル直キヲ

舉ゲテ枉レルヲ錯クト云フ如キハ一十直枉ト云フ形容詞ノ下ニ事及ビ人ト云フ名詞ヲ省畧シテ名詞ノ位ヲ冒セシモノナリ

集合名詞

集合名詞トハ同意味或ハ全ク違ヒタル詞ヲ一
体トナシタルモノヲ云フ假令バ 群集 集會

運命 是非 得失 禮樂 興廢 ユキカヘ

リ往オキフシ起モトスエ本等ノ類ナリ

文例

第一 集會ハ、事ヲ議スル為メナリ

第二 是非ヲ辨ズルヲ明ト云フ、

第三 矢死ハ、運命ノ盡キタルナリ、

第四 宜シク古今ノ興廢ヲ察知スベシ、

第五 本末ハ、察トズンバアルベカラズ、

右ノ例ニ於キテハ集會及ビ運命ト云フ片ハ同意味ニシテ他ハ皆全ク違ヒタル詞ナレ氏約シテ一体トナシタル故ニ集合名詞ト云フナリ

動詞ヨリ來ル名詞

動詞ノ本体ヲ直チニ名詞トナスモノアリ即

往ク 致ス 打ツ 死ヌ 言フ 住ム 此等
 ノ 詞ハ 詞尾ニコト、云フ 詞ヲ加ヘテ 名詞ト
 ナスベキヲ 畧シテ直チニ 名詞トナセシモノ
 ナリ

文例

第一 子ヤ、往クヲ告ゲ來ルヲ知ルモノナリ、
 第二 君ノ難ニ赴キ、命ヲ致スヲ忠ト云フ、
 動詞ノイ緯又工緯ニ通フモノヲ名詞トナスモ、
 アリ 不規則動詞ハ 即 用キ 漕ギ 縦ギ
此例ニアラス 死ニ 攀チ 媚ビ 住ミ 押シ 枯レ 連

ネ 餘リ 吸ヒ 浴ミ 譽メ 消エ 飢エ
 等はナリ

名詞、代名詞ノ前又後ニ諸 等 輩ノ字ヲ加ヘ
 或ハ同種ノ名詞ヲ相重ネテ二個以上ヲ示スモ
 ノアリ之ヲ複數ト云フ假令バ 諸物 諸人
 鳥魚等 我輩 又同種ノ名詞ヲ相重ヌルモ
 ノトハ 國々 山々 家々 戸々 區々
 村々ト云フ如シ
 名詞ノ格ヲテハニ
 格トハ名詞及代名詞ニ詞ノ互ニ相關係スルト

或ハ他ノ詞ニ關係スル片其作動ノ及達スル有
様ヲ示スモノヲ云フ而メ此格ニ三種アリ第一
主格第二持主格第三物体格是ナリ

主格

主格トハ文章中ノ主トナルヘキ名詞ニガ及ビ
ハノ字ヲ附加スルモノヲ云フ假令バ 人ガ歩
行スル 草ガ茂ル 女兒ハ歌フ 木ガ風ニ
倒サル 獸ハ走ル 夏日ハ暑シ冬日ハ寒シ
ト云フノ類ニ於キテハ人 草 女兒 木
獸 夏日 冬日等ハ一章中ノ主トナル故ニ

主格ノ名詞ト云フ此等ノ中ガハ一物ノ作動
スル片ニ用キハハ二物ノ相比ビタル片ニ用
ウルモノナリ又主格ハ時トノ更ニ章尾ニ立
ツコトアリ假令バ 羅拔兒篤弗兒頓ハ蒸氣
船ノ發明者ナリ 拿破翁ハ不世出ノ英材ナ
リト云フノ類ハ發明者及ビ英材ハ上ノ主格
ト同格ナルモノニ此等ヲ名ツケテ後ノ主
格ト云フ此外又變体アリテノヨ及ビモノ字
ヲ附加シ或ハ全ク文字ヲ加ヘザルモノアリ
假令バノノ字ヲ附加スルトハ即 鶯ノ鳴ク

雨ノ降ル 日ノ出ルト云フノ類ナリ此等ハ
 古來ヨリ用キ來レ氏ガノ意味ニ異ナルナ
 ク持格主ノトハ大イニ異ナルモノナリ
 ヨノ字ヲ加フルモノトハ本來ノ主格ニアラ
 ズ是即命令法ニシテ只人或ハ物ヲ呼ビ出ス
 片ニノミ用ウルモノナリ而シテ此格ハ他ノ
 詞ニ關係セズシテ孤立スル故ニ一ニ之ヲ獨
 立格トモ云フ假令バ 花ヨサケ 小兒ヨ來
 レ 君ヨ歸レト云フノ類ナリ
 モノ字ヲ加フルモノトハ二物ノ齊シキ作用

ヲナス片用ウルモノナリ假令バ 風モ吹ク
 雨モ降ル 雞モ鳴ク狗モ吠ユルト云フノ類
 ニシテ同時ニ二物ノ作動ヲ示スモノナリ此
 例ハ 風モ亦吹キ雨モ亦降ル 雞モ鳴キ狗
 モ亦吠ユルト云フノ意ニ同シクモ亦ノ接續
 詞ヲ置クベキヲ畧シテ風モ雨モト云ヒシニ
 ヨリ主格ガノ消エシモノナリ又文字ヲ加ヘ
 ザルモノハ多ク自動詞ト結合スル片或ハ直
 子ニ副詞ノ前ニアル片用ウルモノナリ假令
 バ 價廉ナリ 彼ノ入ハ智アリ 春已ニ來

ル 君今行ク 予甚ダ疲ルト云フノ類ナリ
主格綴入ノ例

獸ハ、聲ヲ發スレドモ、言ヲ出タシテ、語ルコト
能ハズ、

右ノ文章ニ於キテ獸ハ一章ノ主トナル故
ニ之ヲ主格ノ名詞ト云フ又發スル出タス
語ルトハ主格ノ作動スル形状ヲ顯ス動詞
ナリ

練法

左ノ例ニ於キテ名詞ノ種類及ビ主格ノ名詞ヲ

搜索スベシ

文例

第一 君子ハ、其位ニアザレバ其政ヲ謀ヲ

ズ、

第二 人ノ父母タルモノハ、能ク其子ヲ愛育

スベシ、

第三 少年ハ、恰モ春ノ時節ノ如シ、

第四 婦ハ、其容貌ヲ美ニセンヨリ、寧口貞操

ナレ、

第五 華盛頓ハ、不世出ノ英材ナリ、

第六 硝子ハ紀元前六十年羅馬人ノ發明ニ
出シモノナリ、
萬象堂藏

持主格

持主格トハ持主ノ關係ヲ顯シ一般ニ名詞ノ後
ニハ、字ヲ附加スルヲ以テ法トス假令バ
鷲ノ翼 鷹ノ爪 童子ノ帽ト云フキハ鷲ノ
持チタル翼 鷹ノ持チタル爪 童子ノ持チ
タル帽ト云フニ同ジ意味ニシテ鷲 鷹 童
子ハ其ノ持主ナル故ニ之ヲ持主格ト云フナ
リ

又此格ニ變体アリテガノ字ヲ用ウルトアリ

假令バ 君ガ代 松ガ枝 雁ガ音ト云フ

ノ類ハ古ヨリ多ク用キ來レ元來音便ヨ
リ出テタルモノナレバ通常ノ言語文章ニ
ハ務メテ避クルヲ可トス

又ツノ字ヲ加フルモノアリ假令バ 天津神

上方 沖津白波ト云フノ類ニシテ天ノ上

ノ沖ト云フニ異ナルコトナシ然レ此
等ハ多ク古言ニ用キ今言ニハ用ウルトナ
シ

學文去書 卷之二 萬象堂藏

又漢字ヲ音讀スル片ハテニヲハヲ附セザル
 モノアリ假令バ 河水 柳葉 園柳ト云
 フノ類ニメ河ノ水 柳ノ葉 園ノ柳ト云
 フニ異ナルヲナシ然レドモ語勢ニヨリ熟
 語ノ名詞トナスモ可ナリ

文例

第一 太郎ハ、次郎ノ帽ヲ失ヒシ、
 第二 鷹ノ爪ハ、甚々鋭キモノナリ
 右ノ例ニ於キテ太郎及ビ爪ハ文主ニシテ
 次郎及ビ鷹ハ帽爪ノ持主ナル故ニ持主格

ト云フナリ而シテ此持主格ハ帽及ビ爪ト
 云フ持物ノ名詞ニ支配サレシモノナリ又
 失ヒシトハ主格ノ作動ヲ顯ハス所ノ動詞
 ナリ

練法

左ノ例ニ於キテ主格及持主格ヲ分解スベシ
 第一 三郎ハ、新聞ヲ讀ム、
 第二 彼ハ、龍動ニ行キシ、
 第三 馬車ハ、町ニ到着セシ、
 第四 小兒ハ、猫兒ノ頭ヲ鞭チシ、

小學文法書 卷之二 萬象堂藏板

第五 父母ノ恩ハ、滄海ヨリ深シ、
第六 童子ハ、石盤ヲ破リシ、

物體格

物體格トハ文中ノ標目或ハ關係ヲ顯シ而シテ
一般ニ他動詞及ビ後置詞ニ添ヒ常ニニヲノテ
ニヲハヲ附スルモノヲ云フ
此格ノ中ニノ字ヲ附スルモノハ主賓ノ外作用
ニ關係シタル標的ヲ示スモノニメ假令ハ
鳥ハ空中ニ飛翔スト云フノ類ニメ空トハ鳥
ノ飛翔スル處ノ標的ヲ示シ中ト云フ後置詞

ニ支配サレタルモノナリ

又ヲノ字ヲ附スルモノハ主格ノ作用カ直チニ
他ノ物体ニ及達スルヲ示ス片ニ用ウルモノ
ナリ假令バ 童子ハ紙鳶ヲ飛バス 女兒ハ
偶人ヲ持テリト云フノ類ニシテ紙鳶ハ童子
ノ飛バズ物体ヲ示シ偶人ハ女兒ノ持ツ物体
ヲ示セシモノナリ
又此格ニニテ及ビヘノ字ヲ附加スルモノアリ
即 目ニテ見ル 馬ニテ走ルト云フ如キハ
目ニ憑リテ見ル 馬ニ憑リテ走ルト云フノ

小學文法書 卷之二 十 萬象堂藏板

畧ナリ
 へ行カン
 此地へ來ルナラント云フノ類ニ
 メ總ベテ未來ヲ示ス片用ウル格ナリ
 此他又ハ及ビテモノ字ヲ加フルモノアリ假令
 バ 冬日ハ湯ヲ飲ミ 夏日ハ水ヲ飲ムト云
 フ片ハ 冬日ニ於キテ人ハ湯ヲ飲ミ 夏日ニ
 於キテ人ハ水ヲ飲ムト云フ意ニシテ冬日ニ
 ハノ字ヲ附シタルモノニ非ズ人ト云フ主格
 又ニ附加シタルモノナリ又テモノ字ヲ附スル
 トハ人ヲモ身ヲモ恨ミガラマシノ類ニシテ

人ヲ恨ミズ亦身ヲ恨ミズト云フニ同ジクモ
 ハモ亦ノ畧言即接續詞ヲ置キタルナリ主格
ヲ参考
スベシ
 又テバノ字ヲ附スルモノアリ假令バ 忘ラル、
 身ヲバ思ハズ 肉ヲバ炙キテ食ヒ穀ヲバ炊
 キテ食フト云フノ類ニ身ヲ我ハ 肉ヲ人
 ハ 穀ヲ人ハト云フノ意ニ同シク我人ト云
 フ主格ヲ畧シタルナリ

練法

左ノ例ニ於キテ總メテノ格ヲ分解スベシ

文例

- 第一 古論武斯ハ、亜米利加ヲ發見セシ人ナリ、
- 第二 神ハ、善人ヲ愛シ、惡人ヲ罰スルモノナリ、
- 第三 小兒ノ体ハ、甚夕軟弱ナリ、
- 第四 彼ノ妻ハ、貞操ナリ、
- 第五 脆武斯ハ、馬ヲ鞭撻セシ、
- 第六 暴風ハ、多クノ害ヲ為ス、
- 第七 那亜ハ、始メテ、船ヲ造リシ人ナリ、

第八 生徒ハ、學校ニ於キテ學ブ、

第九 師ニ隨ヒテ、學バザレバ、終ニ智識ヲ開

ク能ハズ、

第十 加藤清正ハ、我邦往時ノ英雄ナリ、

同格

文章中名詞ノ等位ヲ説キ明ヌ為メニ他ノ名詞ヲ附加スルコトアリ之ヲ同格ノ名詞ト云フ假令

窮理家ナル、弗蘭麒麟ハ、合衆國ノ碩學ナリ、

合衆國ノ最初ノ大統領ナル、徐尔耳華盛頓ハ、一千七百九十九年ニ没セシ、

此等ノ例ニ於キテハ窮理家ナルトハ弗蘭
麒麟ト云フ主格ノ名詞ニ附加シ大統領ナ
ルトハ徐兒日華盛頓ト云フ主格ノ名詞ニ
附加シ各其主格ノ品位ヲ示シタルモノニ
ノ故ニ之ヲ同格ト云フナリ

代名詞

代名詞ヲ分チテ四種トナス 數及格ハ名詞ニ
人代名詞 指示代名詞 疑問代名詞 復歸
代名詞是ナリ
人代名詞

人代名詞トハ人名ニ代フルモノヲ云フ假令バ

我 吾予 我輩 吾曹 汝 爾 汝輩 爾曹 彼 彼等
君 君等 君輩 君曹 僕 僕等 僕輩 僕曹 足下 貴殿等ノ類是ナ
リ

文例

第一 三郎ハ衆人ノ愛ヲ受ク、如何トナレバ、
彼ハ從須ナル故ニ、
第二 我ハ、汝ノ幸ナルヲ欲ス
第三 此等ハ、吾曹ノ與リ知ル所ニアラズ
第四 我輩ノ、最モ企望スル所ノモノハ、即是

ナリ、

右ノ例ニ於キテ我トハ自己ノ名ニ代ヘ
汝トハ說話ニ對スル人名ニ代ヘ彼トハ
說話ニ加ハル三郎ト云フ名詞ニ代フ
ル詞ナリ又下ニ等輩曹儕ノ字ヲ加フル
片ハ二人以上ヲ示ス詞ニメ即之ヲ複數
ト云フ

指示代名詞

指示代名詞トハ人或ハ物ヲ指示スル片用ウル
モノナリ即 此 此等 之 是 其等ナリ

第四文例ハ今何處ニ在ルヤ

第一 此小兒ハ帽ヲ持テリ、

第二 此等ハ皆我為ス所ノモノナリ

第三 總ベテ生活スル物之ヲ動物ト云フ、

第四 五常トハ仁義禮智信是ナリ、

第五 其書ハ久ク用キタレ氏猶新キモノ、

如シ、

右ノ例ニ於キテハ此トハ小兒ヲ指シ此
等トハ為ス所ノモノヲ指シ之ヲトハ生
活スルモノヲ指シ是トハ仁義禮智信ヲ

指シ其トハ書ヲ指示スルモノナリ

疑問代名詞

疑問代名詞トハ疑惑シテ問ヲ發シ或ハ事物ノ
不分明ナル片ニ用ウル詞ナリ即 何 誰 某
如何等ノ類ナリ

文例

- 第一 此レハ何ノ書ト思ヘルヤ
- 第二 某ハ米國ノ産ナルカ
- 第三 其義ハ如何ニアルヤ
- 第四 彼ハ今何處ニ在ルカ

第五 文此レハ如何様ナル事ナルヤ

第六 誰ガ是ヲ為スモノゾ

右ノ例ニ於キテハ 何 某 如何 誰

等ノ詞ハ皆疑ヲ尋ヌルノ詞ニシテ疑問

代名詞トナルナリ

復歸代名詞

復歸代名詞トハ文章中主格ノ作動復其作動セ
シモノニ歸スル片用ウルモノナリ即 已 自
自己 自身等ナリ

文例

第一 人行ヒテ、得サルコトアレバ之ヲ已ニ
反求スベシ、

第二 人・虚言ヲ語ルハ、自ラ欺クナリ、

右ノ例ニ於キテハ已及ビ自ト云フ詞ハ、
復歸代名詞ニノ主格ナル人ノ作動ノ復
其文主ニ歸セシ、モノナリ

練法

左ノ例ニ於キテ各種ノ代名詞ヲ以テ缺ヲ填メ
而メ各品詞ヲ分解スベシ、

文例

第一 (一)長ヲ取り、(二)短ヲ補フベシ、

第二 夜ハ(一)絢索セヨ、

第三 (一)事モ、父母ノ命ニ隨フベシ、

第四 (一)ノ欲スル所、(二)人ニ施セ、

第五 (一)ノ欲セザル所、人ニ施ス勿レ、

第六 幸ト不幸トハ、(一)招クナリ、

第七 (一)須ク、耐忍ヲ要スベシ、

形容詞

形容詞ニハ本來ノモノト動詞ノ本体ヲ直チニ
形容詞トナスモノアリ又名詞ヨリ來ルモノト

動詞ヨリ分レ來ルモノアリ而シテ其殊別ナル
詞尾ハナルナノキシキラシキベキタルラル
等ナリ

總ベテ形容詞ハ名詞ノ前ニアルヲ法トスト雖
氏時ニヨリ名詞ノ後ニアルヲアリ假令バ

青キ山 深キ海 寒キ冬 寂寥ナル夜ト云
フベキヲ山ハ青シ 海ハ深シ 冬ハ寒シ

夜ハ寂寥ト云ヒ或ハ父母ノ深キ恩 小兒ノ
低キ音ト云フベキヲ父母ノ恩ハ深シ 小兒ノ

音ハ低シト云フノ類ニシテ此等ヲ後ノ形

容詞ト云フ

本來形容詞ニシテ文字ヲ附加セザルモノアリ

假令バ 青 黃 白 黒 廣 甘 苦 等

ノ類ニシテ之ヲ名詞ニ附加スル片ハ 青葉

黃絲 白石 黒馬ト云フ如シ

本來動詞ヲ直ニ形容詞トナスモノアリ假令バ

打ッ 降ル 鳴クト云フヲ打ッ入 降ル雨

鳴ク鳥ト云フノ類ナリ

動詞ノ詞尾ニルノ助動詞ヲ加ヘ形容詞トナス

モノアリ之ヲ分詞形容詞ト云フ假令ハ 過

ケヲ過グル 流ルヲ流ル、ト云フノ類ニノ
 之ヲ名詞ニ加フルキハ即 過グル月日ハ復
 タ來ラス 流ル、水ハ腐敗スルコトナシト
 云フノ類ナリ
 詞尾ニナル十ノ字ヲ附加スルモノハ即 大イ
 ナル家 小サナル村 暖ナ日等又漢字ノ熟
 字ニ加フルモノハ廣大ナル 猛惡ナル 豪
 邁ナル等又ノ、詞尾ヲ加フルモノハ右ノ手
 山ノ手此例ノノハ元ナヨル轉シ來リシモノ
 ニシテテニヲハノ格ノトハ異ナリ

キノ詞尾ヲ附スルモノハ即高シヲ高キ 美シ
 ヲ美シキ 麗シヲ麗シキ 繁シヲ繁キ 俊
 シヲ俊キト云フ如シ
 動詞ノ詞尾ヲシキニ變ズルモノハ即 痛ムヲ
 痛マシキ 噪グヲ噪ガシキ 悦ブヲ悦バシ
 キト云フガ如シ
 名詞、形容詞及動詞ヲ二個重ネテ形容詞トナス
 一アリ即 速タシキ 永タシキ 賑々シキ
 ト云フガ如シ
 名詞ノ詞尾ニラシキヲ加ヘテ似タル風情ヲ示

スモノアリ即 花ラシキ 冬ラシキ 霜ラシキ 雪ラシキ等

動詞ノ詞尾ニベキヲ加フルモノアリ即 讀ム

ベキ書 休ムベキ時

名詞ヲ形容詞トナスモノアリ即 雨水 塩水

日本人 支那人 義經袴等ナリ然レトモ

亦他ノ液及人袴等ニ比較シテ云フ片ハ全ク

一ノ名詞トナルモノナリ假令バ雨水ハ泉水

ヨリ其量輕シ日本人ハ支那人ヨリ開化セ

リ 義經袴ハ窄袴ノ如ク輕便ナラズト云フ

ノ類ナリ

數量ヲ示スモノアリ即 一 二 三 百 千 萬ト云フ

如キ之ヲ數形容詞ト云フ又順序ヲ示スモノ

ハ第一ノ 第二ノ 第三ノ等ノ如キ之ヲ順

序形容詞ト云フ

練法

左ノ例ニ於テ形容詞ヲ以テ缺ヲ填メ而シテ各種ノ詞ヲ分・解スベシ

文例

第一 我ハ() 兄アリ、又() 妹アリ、

第二 最モ () 樹ハ、熱帶地方ニ産ス、

第三 春ハ、() 時候ニシテ、夏ハ、() 時候ナ

リ、

第四 樺太ハ、甚 () 時候ナリ、

第五 魯西亜ハ、世界中最 ()

() 國ニシテ、

且人民モ亦甚ダ富ノリ、

動詞

動詞ニハ種類、活用法、時限等アリ又分詞、助動詞ノ別アリ今其大略ヲ左ニ掲グ

動詞ノ品類

動詞ニハ自動詞、他動詞ノ二種アリ又作動ノ能

ク他ノ物ニ移ルト他ヨリ移リ來ルトニ從ヒテ

亦各、能動、受動ノ二類トス

他動ノ能動、受動トハ假令バ 碎ク 治ムト云

ヘバ必ず上ニ物体格ノ名詞アリテ 玉ヲ碎

ク 國ヲ治ムトナルガ如キハ碎ク 治ムノ

作動ノ物体ニ及達スル故ニ他動ノ能動トナ

ル又之ヲ碎カル 治メラルト云フトキハ受

動トナリ其變畫ニ於キテハクダカル、

ダカレ オサメラル、 オサメラレト云フ

如クレラル、ラレ等ニ詞尾ヲ變ズルモノナ
リ

自動ノ能動、受動トハ假令バ 眠ル 驚クト云

ヘバ本來ノ自動詞ナレ氏又ネムラスオドロ

カスト云フ片ハ能動トナリテネムラサルオ

ドロカサルト云フトキハ受動トナル其變畫

ハオドロカサル、オドロカサレトナルガ如

シ

他動詞及ビ自動詞ノ能動、受動及ビ其變畫ノ畧
表ヲ左ニ掲グ

詞動自	詞動他		
動 眠	嫉 懷	能動ノ形	受動ノ形
ウゴカス	ネムラス	イダク	イダカル
ウゴカサル	ネムラサル	イダマル	イダカル、 イダカレ
ウゴカサル	ウユカサル	ウユカサル	ウゴカサレ
		變 畫	

動詞ノ活用

動詞ノ活用トハ作動ノ次第ニヨリ或ハ分詞ト
ナリ或ハ助動詞ト結合シ或ハ獨立シテ名詞ト

ナル等ニ於キテ其形ヲ變スルモノヲ云フ而シテ我國ノ動詞ハ總ベテ固有一定ノ形アリテ決シテ他經ニ變ズルヲナク必ス同經ニ活用スルモノナリ此活用ヲ大別シテ規則不規則ノ二種トナス規則動詞トハ四段中二段下二段ノ活用是ナリ四段活用トハアイウエノ四緯ニ通フモノヲ云ヒ中二段活用トハイウノ二緯ニ通フモノヲ云ヒ下二段活用トハウエノ二緯ニ通フモノヲ云フ又不規則動詞トハ一段及三段活用ヲ云フ此活用ハ何レノ緯トモ定マラズ只一段ト

三段ニノモ通フモノナリ又規則不規則ノ別ナク各受クルテニヲハアリテ皆之ト結合シテ自在ノ活用ヲナスモノナリ今其畧表ヲ左ニ掲グ規則動詞ノ表

第一音	第二音	第三音	第四音
ハニ結合スル接續法 ヲ示ス○ニ結合スル レバ未來ヲ示ス○ヌ シマシ結合シテ不 又未來ヲ示ス○テハ ズシテノ約ナリ	受ルテヲハナケル名 詞トナル○テシカガニ 結合シテ接續法ヲ示ス ○ヌタリケリシキ結 合シテ過去ヲ示ス○ルニ 合シテ現在ヲ示ス	此音ハ現在不定法 即動詞ノ本体ニテ 結合ナシニ名詞トナ レ○マキベクナリ 合ス	命令法ナリ○ハ トモニ結合スレ バ接續法ヲ示ス
バ○ン○ヌヌシ ツシテ	テ○ヌタリケリ シキシカツルナバ	ベキベク○ナリ○ ニ○コト○トモ	ヨ○バ○ド○ドモ

下			用			活		段		二	
瘦	受	得	率	舊	老	試	戀	試	戀	試	戀
ヤセ	ウケ	エ	ヒキキ	フリ	オイ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ
ヤセ	ウケ	エ	ヒキキ	フリ	オイ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ
ヤス	ウク	ウ	ヒキウ	フル	オユ	コ、ロム	コフ	コ、ロム	コフ	コ、ロム	コフ
ヤスル	ウクル	ウル	ヒキウ	フル	オユル	コ、ロム	コフル	コ、ロム	コフル	コ、ロム	コフル
ヤセ	ウケ	エ	ヒキキ	フリ	オイ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ	コ、ロミ	コビ
ヤスレ	ウクレ	ウレ	ヒキウ	フル	オユレ	コ、ロム	コフル	コ、ロム	コフル	コ、ロム	コフル

第一音

第二音

第三音

第四音

バ○マ○メジ

テ○キ○ヌタリ

第一行

第二行

第一行

第二行

萬葉集

中		用			活		段		四	
落	起	釣	住	逢	打	押	鮑	釣	住	逢
オチ	オキ	ソラ	スマ	アハ	ウタ	オサ	アカ	ソラ	スマ	アハ
オチ	オキ	ツリ	スミ	アヒ	ウチ	オシ	アキ	ツリ	スミ	アヒ
オツ	オク	ツル	スム	アフ	ウツ	オス	アク	ツル	スム	アフ
オツ	オクル	ツル	スム	アフ	ウツ	オス	アク	ツル	スム	アフ
オチ	オク	ツレ	スメ	アヘ	ウテ	オセ	アケ	ツレ	スメ	アヘ
オツ	オクレ	ツレ	スメ	アヘ	ウテ	オセ	アケ	ツレ	スメ	アヘ

第一音

第二音

第三音

第四音

バ○シ○メジ

テ○キ○ヌタリ

第一行

第二行

第一行

第二行

萬葉集

二捨					
兼	辨	響	消	枯	飢
カネ	ワキマヘ	ホメ	キエ	カレ	ウエ
カネ	ワキマヘ	ホメ	キエ	カレ	ウエ
カヌ	ワキマフ	ホム	キユ	カル	ウ、
カヌル	ワキマフル	ホムル	キユル	カル、	ウ、ル
カネ	ワキマヘ	ホメ	キエ	カレ	ウエ
カヌレ	ワキマレ	ホムレ	キユレ	カルレ	ウ、レ

右ノ活用中四段活用ハアナヤワノ四行ニハアルナシ而シテ第一音ノカサタハマリノ行ハ

其儘ニテハ未ダ語ヲナサズ必ず受クルテニラハト合シテ始メテ語ヲナスナリ又中二段ノ活用ハアサナノ三行ニハナシ第二音キチヒミリ平等ハ四段ノ活ノ第一ノ音ト第二ノ音トヲ兼ヌルナリ又下二段ノ活用ハ十行悉クアリテウ緯ノ音ハルレヲ加ヘテ第三音ト第四音ヲ兼ネ又エ緯ノ音ハ第一、第二ノ音ト第四ノ音トヲ兼ヌルモノナリ右三類ノ活用中、二段活用ノ動詞ハ恰モ四段活用ノ如ク通ヘドモ第三音ト第四音ニハ二様ノ變畫アリテアルアレノ畧ナルル

レヲ加ヘシモノナリ故ニコフル人カヌル人ト
 云フ片ハコヒアル人カネアル人ト云フニ同ジ
 又コフレレト云フニ同ジ他ハ皆之ニ倣フ
 ネアレレト云フニ同ジ

不規則動詞ノ表

一	著		
居	キ	バ ○シ ○マ シテ	第一音
中	キ	テ ○マ タリ シ	第二音
中	キ	マ キ マク	第三音
中	キ	コ リ ホ コ	第四音
中	キ	ヨ	第一音
中	キ	ヨ	第二音

活	段	三	用	活	段			
來			蹴	射	煮	似	見	干
コ	ハ ○シ ○マ シテ	第一音	ケ	イ	ニ	ニ	ミ	ヒ
キ	テ ○マ タリ シ	第二音	ケ	イ	ニ	ニ	ミ	ヒ
ク	マ キ マク	第三音	ケ	イ	ニ	ニ	ミ	ヒ
クル	コ リ ホ コ	第四音	ケル	イル	ニル	ニル	ミル	ヒル
コ	ヨ	第一音	ケ	イ	一	ニ	ミ	ヒ
クレ	ヨ	第二音	ケレ	イレ	ニレ	ニレ	ミレ	ヒレ

用爲
セ
シ
ス
スル
セ
スレ

右ニ舉グル所ノ不規則動詞中一段活用ハサタヤラノ四行ニハ絶エテナシ又三段活用ハカサノ二行ニ限リ他ニアルコトナシ此變畫ハ規則動詞二段活用ト異ナルコトナシ
 表中四段活用第三音ハ動詞ノ本体ニシテ分詞トナリ或ハ他ノ詞ト結合スルモ其形ヲ變ズルコトナシ二段活用及三段活用ハ分詞トナリ形容詞トナル片ハ必ズ第三音第二行ノルノ字ヲ

加フルヲ法トス不規則動詞モ亦之ニ同シ

ル文字配合ノ例ノ世俗ニ誤用スル所

中二段活用

起 オクル 薙 ナグル 此クルヲ俗ニキル

下二段活用

舉 アグル 受 ウクル 此クルヲ俗ニケル

下二段活用

任 マカスル 瘦 ヤスル 此スルヲ俗ニセ

ル

中一段活用

懼 オツル 閉 トツル 此ツルヲ俗ニチル

下二段活用

出 イヅル・棄 スツル 此ツルヲ俗ニテ

同上

重 カサヌル 束 ツカヌル 此ヌルヲ俗ニ

ネル

同上

媚 コブル 綻 ホコロブル 此フルヲ俗ニ

ヒル

同上

與 アタフル 加 タハフル 此フルヲ俗ニ

ヘル

中二段活用

試 コ、ロムル 怨 ウラムル 此ムルヲ俗

ニミル

下二段活用

崇 アガムル 明 アキラムル 此ムルヲ俗

ニメル

中二段活用

悔 クユル 老 オユル 此ユルヲ俗ニイ

下二段活用

覺

オボユル 吠 ホユル 此ユルヲ俗ニエ

中二段活用

下

オル、 懲 コル、 此ル、ヲ俗ニリル

入

イル、 顯 アラハル、 此ル、ヲ俗ニ

中二段活用

率

ヒキウル 用 モチウル 此ウルヲ俗ニ

キル

下二段活用

飢

ウ、ル 植 ウ、ル 居 スウル 此ウ

ルヲ俗ニエ

右ニ舉ゲタルル文字配合ノ例中俗ニ何々ト記
セシハ世ニ誤リ用キ來リシモノナレバ決シ
テ言語文章ニ用ウベキモノニ非ズ又此類ノ
詞ハ其數甚ダ多キ故ニ僅ニ一二ノ例ヲ掲ゲ
シノミナレバ此他宜シク類推スヘシ
動詞ニスルノ詞尾ヲ加ヘテ一ノ詞トナセシモ

ノアリ假令バ 才ハスル 座御 タエスル 絶エ
 フリスル 旧リ モノスル 物為 敬スル 制
 スル 奏スル 念ズル 愛スル 拜スル
 命ズル 論ズル 禮スル 等ノ如キハモト 詞尾
 ニ為ルト云フ 詞ヲ添ヘテ云ヒシモノナレ 氏
 恰モ一詞ノ如クナリシモノナリ 此他又漢語
 ノ動詞ハ何レモスルノ詞尾ヲトリ 活用スル
 モノナリ

分詞

分詞ハ元來動詞ノ變畫ニシテ 詞尾ニル 或ハル

、ノ字ヲ加ヘテ 文主ノ作動ヲ作セ 凡通常名詞
 ノ前ニアリテ 形容詞ノ用ヲ兼ネ 兩部ノ詞ニ涉
 ル 故ニ分詞ト名ツクルナリ 又形容詞ノ用ヲナ
 スニ於キテハ 四段活用ノ動詞ハ 本然ノ形ヲ變
 ズルトナシ 假令バ 打ツ人 降ル雨ト云フ 片
 ハ 打ツ降ルハ人及雨ヲ形容シ 兼ネテ 作動ヲ
 顯スモノナリ 又分詞ニモ 能動、受動ノ別アリ
 其例左ノ如シ

能動分詞及受動分詞

能動	四段活用	中二段活用	下二段活用	一段活用	三段活用
分詞	驚カス人	驚フル人	譽ムル人	煮ル物	為ル事
受動	釣ラル、魚	戀ヒラル、人	譽ラル、人	煮ラレ、物	為ラル、事
分詞	驚カサル、人	落ル、梨子	植エラル、樹	射ラル、矢	來ラル、人

組立動詞トハ二個ノ動詞結合シテ一語トナリタルモノナリ假令バ、思ヒハカルト云フヲオ

モシバカル慮 沸騰ヲニタツ 這へ入ルヲ
 ハヘル 反リ見ルヲカヘリミル ツカヘマ
 ツルヲツカフマツル事ト云フ如シ
 動詞ト名詞ト結合シテ恰モ一語ノ如クナリシ
 テノアリ假令バ、戸鎖スヲトザス 手拂ヲ
 テラフ 後見ヲウシロム 蟲食ヲムシバム
 ト云フ如シ
 又副詞或ハ形容詞ト結合スルモノアリ假令バ
 逆ニ上ルヲサカノボル オハシマスヲオ
 ハス 若生ヘヲワカユト云フ如シ

又二個ノ動詞結合シテ一ノ意味ヲナスモノアリ
 リ假令ハ 旋リ逢フメグリアフ 請ケ合
 フヲウケアフ 聞キ召スヲキユシメスト云
 フ如シ

又意義ノナキ詞ヲ前ニ置キテ動詞ノ意味ヲ強
 クスルモノアリ假令バ アヒヨル 相サシユ
 ルス 差ウチヨリ 打トリマギレ 取タチワカレ
 等ニ於キテアヒサシウチチノ如キ元來
 一個人ノ意義アルモノナレドモ此ノ如ク他々
 動詞ト結合スルキハ唯其動詞ノ意ヲ強クス

ルニ過ギス

助動詞

助動詞ハ動詞ノ形ヲ變畫スルモノニシテ動詞
 ノ作動ノ次第法及時限等ヲ定ムル為メニ動詞
 ノ詞尾ニアリテ最緊要ナルモノナリ
 又助動詞ノ殊別トルモノハ有得爲ノ三詞ニノ
 此詞ハ凡百ノ作動ニ涉ルヲ以テ何レノ動詞モ
 此意ヲ含マザルナシ故ニ之ヲ名ツケテ動詞ノ
 根元ト云フ其他又他ノ動詞ト結合スルモノハ
 假令バ ルタタリシキケリズヌムンアラシ

ナリナルナランカナセル等是ナリ此等ノ中
 ルハ有ルサルノ畧々ハタリノ畧タリハテ
 アリノ畧シハキノ轉キハ又ケリノ約言ケリ
 ハタリノ轉ナリ而シキハ互ニ相轉用スル
 モノニノ共ニ過去ト現在トノ別アリ假令バ
 恨ラメシタルシ苦戀ヒシキ悲シキト
 云ハバ現在ヲ示シ又見シ掛ケシ寒カリ
 キ逢ハザリキト云フ片ハ過去ヲ示スガ如
 シズハ通常否不ヲ示スモノナレバ未ダ然ラ
 ヌヲ兼ネテ云フ片ハ屢ジトナルトアリ假令

バ見ジ聞カジ為ジト云フ如シ又ハ否
 不ノヲト畢ノヲト兩義アリ假令バ吹カマ
 降ラマ為ヲト云ハバ否不ヲ示シ吹キ
 タ降リマ為ヲト云フ片ハ畢ノヲトナル
 ガ如シ又ムンアランニアリニナルノ畧ナル
 ナリナルニアランノ畧ナルナラン等ハ皆未
 來ヲ示スカナハカト云フ辭ニナラ添ヘタル
 モノニノナハ又ケリナケラシナガモナ等ヨ
 リ分レ來ルモノナリ故ニカナト云フベキヲ
 カノミヲ用キシ例多シ假令バ歎ゲカン為

トナレル我身カト云フ如シ又逢フヨシモガナ
 來ルヨシモガナト云フ如クガナト濁ル片
 ハ願フ詞トナル又セルハ為シアルノ畧ニ
 即 為セル事 似セル 凝ラセルト云フ如
 シ助動詞ヲ動詞ニ附シ明ニ時限ヲ知ラント
 欲セバ假令バ 語ルト云ヘバ動詞ノ本体ニ
 ノ現在ヲ示セ氏カタリシト云フ片ノシハ過
 去ヲ示シ又カタラント云フ片ノハ未來ヲ
 示スガ如キ是ナリ

時限

時限トハ說話文章ノ時限ヲ定ムルヲ云フ其例
 左ノ如シ

過去

過去ハ既往ノ時ニ方リテ為シ終リタル作動ヲ
 示スモノナリ假令バ 彼ハ前日既ニ出帆セシ
 予ハ昨年此事ヲ學ビタリト云フノ類ニ於
 キテハ出帆セシ學ビタリトハ既ニ為シタル
 作動トナルナリ

現在

現在トハ現今作動スル事業ヲ示スモノナリ假

令バ 彼ハ今行ク 小兒ハ來ルト云フノ類
ナリ

未來

未來トハ今ヨリ後ニ作動セントスル事業ヲ示
スモノナリ假令バ 彼ハ明日此地へ來ルナラ
ント云フ如ク未ダ來ラザルヲ前言スル片ニ
用ウルモノナリ若シ此地ニ來ルナラシ彼地
ニ行クナラント云フ如ク二ノ字ヲ用ウル片
ハ過去ヲ示ステニヲハトナリ時限ノ異ナル
モノナレバ宜シク注意スベシ

動詞ノ法

法トハ文ヲ綴リ或ハ說話ヲナスニ當リテ作動
ノ形状及ビ自他ノ區別ヲ示ス定則ヲ云フ之ヲ
分チテ五種トナス即 不定法 指示法 命令
法 接續法 疑問法是ナリ
不定法トハ文主ナク唯時限ノミヲ定メテ一般
ニ作動ヲ示スモノヲ云フ假令バ 行ク 行キ
タリ 行カン等ノ如シ
命令法トハ使令ヲナス片用ウルモノナリ假令
バ 汝茲ニ來レ 予ヲ助ケヨ 君ヨ行ク勿

レ等ノ如シ

接續法トハ章句ヲ連續スルモノニシテ即トト

モドドモトキバナラハ等ニ結合スルモノナ

リ假令バ 我ハ行クトモ 我ガ行クト 我

ハ行ケトモ 彼ハ歸レト 彼ガ行クト 汝

ガ行クナラバト云フ如シ此内トモハ現在ヲ

示シドモト濁ル片ハ過去ヲ示ス詞トナルナ

リ

疑問法トハ疑ヒテ問ヲ尋ヌル片用ウルモノニ

シテ疑問副詞ノカヤゾ等ノ結合スルモノナリ

假令バ 此レハ何ナルヤ 彼ハ今何處ニア

ルカ 此ヲナス者ハ誰ナルゾト云フ如シ

法及ビ時限ハ既ニ説明セシ如ク言語文章ノ一

般ノ作用ヲ顯スタメニ大有用ノモノナレバ猶

分明ニ理解セシメンタメ今其畧表ヲ左ニ掲ケ

配合表

				四段	中二	下二	
現在	不飽	定閉	法受	直予カアク	説予カトツ	法予ガウク	命汝ヨアケ
半過去	アキシ	トチシ	ウケシ	予ガアキシ	予ガトチシ	予ガウケシ	
大過去	アキタリ	トチタリ	ウケタリ	予ガアキタリ	予ガトチタリ	予ガウケタリ	
未來	アカン	トチン	ウケン	予ガアカン	予ガトチン	予ガウケン	

今	汝	接	續	法	疑	問	法
汝ヨト子ヨ	汝ヨウケヨ	アクナレバ、アカバ、アクナレ、アクトモ、	トツレバ、トツルトモ、	ウクレバ、ウクルナレバ、ウクルトモ、	アクヤ、アクカ	トツルヤ、トツルカ	ウクルヤ、ウクルカ
		アキシナレバ、アケレ、アキシナレトモ、	トチシナレバ、トチシトモ、	ウケシナレバ、ウケシトモ、ウケシナレトモ、	アキシヤ、アキシカ	トチシヤ、トチシカ	ウケシヤ、ウケシカ
		アキタレバ、アキタレトモ、アキタレトモ、	トチタレバ、トチタレトモ、トチタレトモ、	ウケタレバ、ウケタレトモ、ウケタレトモ、	アキタリヤ、アキタリカ、アキタルカ、	トチタリヤ、トチタリシヤ、トチタルカ、	ウケタリヤ、ウケタリシヤ、ウケタルカ、
		アカンナラ、アカントモ、	トチンナレバ、トチンナレトモ、トチントモ、	ウケンナレバ、ウケンナレトモ、	アカンヤ、アカンカ、	トチンヤ、トチンカ	ウケンヤ、ウケンカ

練法

左ノ例ニ於キテ各品詞ヲ分解シ兼ネテ他動、自動、分詞、助動詞、法、時限、活用等ヲ證明スベシ

文例

植物ノ食物ハ、水ト空氣トノ二種ヲ首トシ、猶其他種々ノ元質ヲ以テ長茂ヲ資ク、其葉ハ空氣及ビ水分子ヲ吸収シテ、枝幹ヲ養ヒ、根ハ地中ヨリ液汁ヲ引攝シテ、全體ヲ滋養ス、故ニ草木ノ根アル、猶人ノ胃腑アルガ如シ、草木若シ根ヲ失フキハ、忽凋枯スルヲ、人ノ胃腑ヲ傷フ

カ如クナリ、

副詞

副詞ハ辭學第一篇ニ説明セシ如ク形容詞動詞及ビ他ノ副詞ヲ名状スルモノナレバ其意味ノ差等ニ隨ヒ數多ノ種類ニ區別ス其例左ノ如シ
但シ用方等ノ如キハ前既ニ説明セシヲ以テ此ニ畧ス

第一數次副詞

一度 二度 三度等

第二順序副詞

第一ニ 第二ニ 第三ニ等

第三位置副詞

此處ニ 彼處ニ 其處ニ 何處ニ 等

第四時刻副詞

今日 明日 既ニ 以前ニ 以來 以降

初ニ 終ニ 等

第五分量副詞

多ク 少ク 僅ニ 充分ニ 澤山ニ 全ク

總ベテ 等

第六狀態副詞

賢ク 正ク 速ニ 堅ク 美ク 醜ク 善

ク 惡ク 早ク 遅ク 適當ニ 等

第七推量副詞

疑ラクハ 恐ラクハ 蓋シ 按ズルニ 等

第八決定副詞

真ニ 實ニ 然リ 決シテ 必ズ 慥ニ 等

第九否不副詞

無ク 勿レ 不ヌ 未^{イダ}等

第十併合副詞

共ニ 兼ネテ 並ニ 一所ニ 一同ニ 等

第十一反覆副詞

度々 再々 屢々 時々等

第十二發語副詞

抑 夫 偕等

第十三殊分副詞

唯 別シテ 殊ニ バカリ 耳已等

前ニ舉グル外尚他ノ辭ヨリ來リテ副詞トナルモノアリ其例左ノ如シ

形容詞ノ詞尾ヲニ或ハクニ變シ副詞トナスモノアリ假令 速ナルヲ速ニ 濃ナルヲ濃ニト云フ如シ又キニ終ル形容詞ハ高キヲ高ク

善キヲ善ク 固キヲ固ク 尊ブベキヲ尊

ブベク 早キヲ早クト云フ如シ

本來ノ名詞ヨリ來ルモノアリ假令バ 無益ニ

年々 月々 日々等

動詞ヨリ來ルモノト數多ノ詞ヲ相重ネテ副詞トナスモノアリ假令バ 急ギヲ急キテ 至リ

ヲ至リテ アマリヲ剩サヘ 此時ニ當リテ 止ムヲ得ズシテ 圖ラザリキ 意ハザリ

キ等

練法

左ノ例ニ於キテ各種ノ詞ヲ分解シ適當ナル副詞ヲ以テ其欽ヲ填ムベシ

文例

- 第一 惡人ハ、()世界中ニ充滿シタル賜ヲ、受クルヲ能ス、
- 第二 彼婦ハ、甚ダ()其兒ヲ養育セリ、
- 第三 ()光陰ヲ送ルモノハ、生涯利ヲ得ル能ハズ、
- 第四 汝若シ雜草ヲノ()園中ニ生センムル片ハ()良植ヲ害ス、惡念ノ良心ヲ

害スルモ猶此ク如シ、豈慎マザル可ケンヤ、

後置詞

後置詞ハ辭學第一篇ニ論ゼシ如ク名詞及代名詞ノ後ニ置キ或ハ名詞ト動詞ト互ノ關係ヲ示スモノニシテ他ニ變化スルヲナシ故ニ此ニ於キテハ唯二三ノ文例ヲ舉ゲ尚其作用ヲ示スニ過キズ

文例

- 第一 空氣ハ地球ノ周圍ニ充滿ス

第二 彼女ハ室内ニ入りテ憇ヒシ、

第三 動物ハ、炭、酸、水、窒ノ四元素ノ外猶數多

ノ元質ヨリ成ルモノナリ、

第四 夜間ハ、日光ヲ見ズ、

第五 牛馬ハ家畜中、最要用ナルモノナリ、

練法

左ノ例ニ於キテ總ベテノ詞ヲ分解シ而シテ、後置詞ヲ以テ其缺ヲ填充スベシ

文例

第一 狗ハ、小兒ノ()走ル、

第二 生徒ハ、學校ニ()學ブ、

第三 魚ハ水()棲ム、

接續詞

接續詞ハ其意味ノ異ナルニ隨ヒ各其種類ヲ異ニスルモノニ之ヲ區別スルヲ左ノ如シ

接續詞ノ品類

第一合連接續詞

ト與 及・ビ 而シテ 並ニ 則 且 加之クハナラズ

等

第二決定接續詞

此故ニ 然ル故ニ 然レバ 是ニ由リテ等
又 故ニ 所以ト云フ如キモ此類ニ屬ス

第三區分接續詞

又 亦 或ハ 將タ 抑此レハ發語副詞ノ
トモ 亦ト云フ片ニ用ウルモノニシテ假令バ
之ヲ與フルカ抑之ヲ束ムルカノ類ヲ云フ

第四反對接續詞

然レバ 縱令 雖レトモ 下ニ等
ニシテ前ニ陳ブルガ如クトトモハ現在ヲ示

シトモハ過去ヲ示スモノニノ假令バ 彼ハ
來ルト 彼ハ來ルトモ又彼ハ來レド 彼ハ

來レドモト云フ如シ又此類中上ノ關係ニ由
リテノガヲ用ウルコアリ假令バ 何々ト云
フノ類 何々ノ如シ 聞クガ如シ 於ルガ如
シ 見ルガ詫ビサト云フ類ニノカガ互ニ轉
用シ總ベテノ如クト云フ意ニテ接續ノ意アリ

第五設有接續詞

ナラバモシアラバ トキハ 否ラザレバ
等

第六說明接續詞

譬へバ 如何トナレバ 即等

練法

左ノ例ニ於キテ各種ノ詞ヲ分解シ又接續詞ヲ以テ其缺ヲ填充スベシ

文例

第一 妻子ヲ愛スル心ヲ以テ親ニ事フレバ

(孝ヲ盡スコトヲ得ベシ)

第二 器滿ツレバ(溢ル月滿ツレバ)(欽ケルコトアリ)

第三 吉凶禍福ハ天ノ命ズル所ナリト

亦已ニ因ラザルモノナシ

第四 空氣熱ヲ受ケテ上騰シ一部稀薄ノ處

ヲ生ズル(他ノ寒冷ナル空氣其飲

ヲ補ハント欲シ流動スルモノ)(之ヲ

風ト云フ

感詞ノ部

感詞ハ其意味ノ異ナルニ隨ヒ各其種類ヲ異ニ

ス其例左ノ如シ其用方ノ狭キモノナルニヨリ此

ニ只其區別ヲ掲ゲ二三ノ

第一 勸喜ノ感詞

嗚呼 嗚呼悦バシキ哉ノ類ニノ賞美
又嘆息ノ時ニ用ウルモノナリ

第二悲哀ノ感詞

ア ナ ア ナ 哀 シ 噫 天 我 ヲ 亡 吁 嗟 ノ 類 ニ シ テ
用 總 ヲ テ 悲 哀 ノ 時 用 總 ヲ テ 悲 哀 ノ 時

第三忿怒ノ感詞

ト 心 中 忿 怒 ノ 念 ヲ 懷 キ 思 ハ マ シ ヲ
ト 心 中 忿 怒 ノ 念 ヲ 懷 キ 思 ハ マ シ ヲ

第四鎮止ノ感詞

叱 雜 選 ヲ 鎮 止 ス ル 片 ニ
叱 雜 選 ヲ 鎮 止 ス ル 片 ニ

第五賞讚ノ感詞

美 ナ ル 哉 政 ヤ 人 德 ナ ド ラ 善 イ 哉 言 行 ナ ド
美 ナ ル 哉 政 ヤ 人 德 ナ ド ラ 善 イ 哉 言 行 ナ ド
ナ テ ヲ フ

第六痛訴ヲ示ス感詞

賊 ア リ 來 リ 救 ヘ 痛 マ シ イ 哉 哀 イ 哉 悲
イ 夫 宜 ナ ル 哉 死 罪 ヲ 々 誠 恐 頓 首 謹
白 多 罪 ヲ 々 等 又 他 ノ 詞 ト 雖 凡 情 ニ 感 ジ テ
發 ス ル モ ノ ハ 皆 感 詞 ト ナ ル ナ リ

文例

第一 噫 暴 惡 ナ ル 君 ヲ 我 ヲ ノ 此 極 ニ 至 ラ シ
第二 先生 世 ノ 罔 極 ニ 遭 ヒ 遂 ニ 厥 身 ヲ 隕 セ
リ 嗚 呼 哀 イ 哉

第三 已ヌル哉、國其レ我ヲ知ル、莫シ、獨壹

鬱トシテ其レ誰ニ語ランヤ、

第四 吁、嗟、我今^{イカンゾ}怎麼此ノ如キノ罪ヲ受ケシ

ヤ、

第五 咄、奴輩何ニゾ、我ヲ侮ルノ甚キヤ、

練法

次ノ文章ニ於キテ各品詞ヲ區分シ適當ノ感詞ヲ以テ其缺ヲ填充スベシ

文例

第一 諫行ハレ、言聽カレ、膏澤民ニ下ル、

第二 (曩ニハ、天下ヲ以テ自任シ、今ハ

愛子ヲ以テ、人ニ託スルニ至ル、

第三 今人利ヲ見レハ則取り、利ヲ見テ義ヲ

思フヲ知ラズ、(世ニ孝子忠臣

ノ出ザル、

第四 (籌策ヲ帷幄ノ内ニ運ラシ、

敵ヲ万里ノ外ニ防クトハ

第五 言忠信行篤敬ト(言ヤ、

小學文法書卷之中終



小學文法書卷之下
文章學第一篇



要旨

我邦往古國語ヲ以テ文章ヲ綴ルノ時ニ當リテ
 ヤ自ラ語法モ一定シ毫モ紛亂アルナシ然ル
 ニ漢字ノ傳來以降語格大イニ錯雜シ遂ニ一種
 ノ文章ヲ成スニ至レリ然レトモ文中自ラ法則
 ノ存在スルアリ今其例ヲ左ニ掲グ大凡書ヲ讀
 ミ文章ヲ綴ランニハ起承轉結ニヨリ各氏爾波
 一說ニテニハトハ即出葉ニシテ葉ナキ片ハ
 何木何ノ草ト云フヲ辨ズル能ハザルモ

ノナレハ葉出レバ始メテ其名ヲ知ルガ如キ
 モノニ漢文ノ解シ難キモテニハヲ附クレ
 バ始メテ其意ヲ知ルハ猶葉出テ、萬木ノ名ヲ
 知ルガ如シトアレハ未ダ是ナルヤ否ヤヲ知
 ズラ

ノ差異アルヲ知ラザルベカラズ若シ此法則
 ヲ知ラザレバ啻ニ文ヲ屬スル能ハザルノミナ
 ラズ又他ノ文章ヲモ解ス可カラズ假令バ漢文
 ヲ和訓センニ賢賢易色、事父母、能竭其力、事君
 能致其身、云云トアルヲ賢ヲ賢トシ、色ニ易へ、父
 母ニ事へ、能ク其力ヲ竭シ、君ニ事へ、能ク其身ヲ
 致スト讀ム片ハ賢ヲ賢トシト色ニ易へト父母

ニ事フルト能ク其力ヲ竭スト君ニ事フルト能
 ク其身ヲ致スト各二個ノ意義トナリ毫モ全体
 ノ意旨ヲ解スル能ハザルモノナリ故ニ賢ヲ賢
 トシテ父母ニ事フマツルニ君ニ事フマツルニ
 トカ或ハ畧シテ事へテト讀ムベシ然ラザレバ
 下ニ續ク詞トナラズ又句ニ因リ前ノ如ク讀ム
 場合ニ於テハ必ズ下ニ一定ノテニヲハアリ學
 者宜ク前ノ辭學ノ條ヲ玩味スベシ
 我邦ノ文章ハ連續或ハ段落等古來ヨリ一定ノ
 格アリテ之ヲ三條ノ大綱ト云フ然レハ今時ハ

文体ノ變セシニヨリ唯雅語ニノミ用ウルコト
、ナレ_レ氏書ヲ讀ミ文章ヲ綴ルニハ略ボ其意ヲ
解セザレバ全ク語格ヲ失フニ至ル故ニ今其概
畧ヲ左ニ掲ク

三條ノ大綱トハ三種ノ規則ニノ即其一ハモ
徒_レト_ハ上ニハモ_グノヤ_何コ_{其二}ハ_グノヤ
何_レノ類_皆同_ジタ_{其三}ハ_コソ_ノ結_ビ是_ナリ_結
ビト_ハ通常_上ノテ_ニヲ_ハノ結_ビニ_シテ_上ヲ
ハ_モ徒_ト起_セバ_ナリ_ケリ_シト_結ビ_ゾノ_何
ト_起セ_バケ_ルト_結ビ_コソ_ト起_セバ_ケレ_或ハ

シカト結ブノ類ナリ又ハ_モ徒_ト起_セバ_シト
結_ビゾ_同ジ_何ト_起セ_バキ_ト結_ブモノ_トハ_徒モ
同_ジト_起セ_バキ_ト結_ビゾ_ノヤ_何ト_起セ_バシ_ト
結_ブモノ_アリ_又ハ_モ徒_ト起_セバ_ヌツ_ルト_結
ビ_ゾノ_ヤ何_ト起_セバ_ヌツ_ルル_ト結_ブ等
種々_アリ_是則_漢文_ニ上_ニ不_亦ノ_字ア_レバ_下
ニ_必ズ_乎ノ_字ヲ_置キ_豈ト_云ヘ_バ乎_或ハ_哉ト
云_ヒ唯_ト云_ヘバ_耳或_ハ而_已ト_云ヒ_可謂_ト云
ヘ_バ矣_ノ字_ヲ以_テ結_ブノ_類ナ_リ然_レ氏_世ノ
人_此等_ハ歌_ニノ_ミ用_{ウル}コ_ト、思_フモノ_多

ケレ氏文章モ亦歌ト全ク同一ナルモノニノ
古文皆然リ故ニ今左ニ古今集ノ序並ニ源氏
物語等ノ語ヲ録シ以テ學者ノ一助ニ供ス
ハモ徒ノ格

ハノ部

武夫ノ心ヲモ慰ムルハ歌ナリ
小野小町ハ古ノ衣通姫ノ流ナリ
在原ノ業平ハ意アマリテ詞足ラズ
此ハ君モ人モ身ヲ恊セタリト云フナルベシ
大伴ノ黒主ハ其体鄙シ

モノ部

此歌モ斯クノ如クナルベシ

徒ノ部

天地開闢ノ時ヨリ出テキニケリ
又山部ノ赤人ト云フ人アリケリ
僅ニ一人リ二人リナリキ
畫ケル女ヲ看テ徒ニ心ヲ動スガ如シ
知レル人讀ム人多カラズ
ゾノヤ何ノ格
萬ク言トゾナレリケル

鳥羽文書 卷之三 萬葉集

斯クテゾ花ヲ愛デ云々各色ニナリニケル
唐歌ニモ斯クゾアルベキ
サバレ石ノ岩トナル歡ビノミゾアルベキ
何レカ歌ヲ讀マザリケル

コソノ格

秋ヲオキテ時コソアリケレ云々

尚ホ思ヒテコソ云ヒシカ

カクコソ思ヒシカ

總ベテ語ノ切ル、處ト連續スル處ハ助動詞ノ
關係ニ因ルモノニメ假令バ紅葉流ル 花咲

キヌ 鶯鳴キツト云フ如キノルヌツハ語ノ
切ル、處トナリ然レモ櫻花散リヌル風 鶯
ノ鳴キツル枝 紅葉流ル、川ト云フガ如キ
ヌルツルル、ハ下ニ續ク詞トナル 但ナリヌ
枝流ル川ト云ヘバ下又切ル、處モ續ク處モ
ニ續ク詞トナリ難シ又切ル、處モ續ク處モ
同ジキモノアリ假令バ聞ク成ス待ツ言フ知
ル等ノクスツフルノ類是ナリ示物ヲニツ並
ベテ云フ、キハ通常動詞ノ本体ヲ以テ結ブモ
ノナリ
前ニ陳ブル所ノモノハ現今通常用ウル少

鳥羽文書 卷之三 萬葉集 五

ナケレ氏我邦語格ノ真面目ニノ今文ト雖氏
亦此法ヨリ轉シ來ルモノナレバ暫ク茲ニ揭
ゲテ逐次ニ普通ノ文格ニ至ラントス是即古
ヲ温ネテ新シキヲ知ルノ謂ヒナリ

起承轉結ニヨリテニヲハニ差異アルノ

例

起承轉結ニヨリ各テニヲハノ差異アルトハ假
令バ|リル|シス|ノ假名ヲ以テ起結ヲ別タンニハ
通常上ヲリシトナシ下ヲルスト結ア類ニノ即
晨ニ入リ夜ニ歸ル
一タビハ將ト為リ一タ

ビハ農トナル 此ヲ為シ彼ヲ為ス又上ヲヒ
ト云ヘバ下ヲフト結ブ 彼ト云ヒ此ト云フ
又シム|キク|ノ如キハ上ヲミ|キト|シ下ヲム|ク|
トス 詩ヲ讀ミ文ヲ讀ム 右ヲ擣キ又左ヲ
擣クト云フ如シ總ベテ四段中二段活用ノ動
詞ハ上ニイ緯ノ假名ヲ用キ下ニウ緯ノ假名
ヲ用キ下二段活用ノ動詞ハエ緯ヲ上トシウ
緯ヲ下トスルヲ法トス又上ヲ孰レカ 孰レ
カト云フ如ク疑問代名詞ヲ以テ起スキハ下
ヲ跳ネタルテニヲハヲ以テ結ブ即ザラン

アラシヤ等ニノ孰レカ禮ヲ知ラザラン 孰
 レカ忍ブベカラザラン 孰レカ之ヲ悪マザ
 ルモノアラシヤ 孰レカ鄙人ノ子ヲ禮ヲ知
 レリト謂ハンヤ 上ヲ何ニゾ馬ニゾ如何ニ
 ズ安ニゾ等ヲ以テ起ス片ハ必ズンヲ以テ結
 ブ何ニゾ必ズシモ是ノミナランヤ 如何ニ
 ズ大功ヲ成スヲ得ン 大網ヲ下サミレバ公
 麼大魚ヲ得ン 馬ニゾ之アラン 嗟呼燕雀
 安ニゾ鴻鵠ノ志ヲ知ランヤ 上ヲ豈ニト云
 ヘバザランヤ アラシヤ等ノ反語ヲ以テ結

フ 豈平カナラザランヤ 豈此歡樂ニ勝ル
 モノアラシヤ 上ヲ況ヤト起セバ下ヲヤ
 ト結ブ 無情ノ草木スラ猶且然リ況ヤ人ニ
 於キテヲヤ 彼既ニ之ヲ為ス況ンヤ我ヲヤ
 寧口ト云ヘバ通常直説或ハ指令ヲ以テ結ブ
 モノニノヨ或ハント留ム 喪ハ其易ナラン
 ヨリ寧口戚セヨ 寧口深山ニ入りテ麋鹿ト
 遊バン 須クト云ヘバマシト結ブ 須ラク
 過ナカラシヲ要スベシ 將サニト云ヘバ
 スト結ブ 我將サニ行カントス 必ス將サ

ニ以テ之ヲ取ルヲアラントス又當サニ應サ
 ニト云フガ如キハ必ズベシト結ブ子ハ當
 サニ孝ナルベシ天應サニ冷ナルベシ何
 タヲノト云ヘバ語ノ續ク片ハシメシメバ或
 ハシムルト結ビ又意ノ切ル、片ハシムシメ
 ント結ブ我ヲノ帝タラシメバ汝ヲノ宰タ
 ラシメン生徒ヲノ善ニ至ラシム又使令ヲ
 ナス片ハシメヨト結ブ我ヲノ言ハシメヨ
 ノ類又上ニ何ヲ以テト云フ如ク確ト定メテ
 云フ片ハ通常下ヲント結ブ何ヲ以テ臧ラ

ガラン恐ラクハト云ヘバ何々スルヲト
 結ブ恐ラクハ其任ニ堪ヘザランヲヲ恐
 ラクハ後世必ズ叛クモノアランヲヲ疑フ
 ラクハト云ヘバ何々カト結ブ疑ラクハ是
 地上ノ霜カト云フノ類又如何トナレバト云
 ヘバ下ヲ何々スルヲ以テナリ何々スルノ
 故ナリ等ヲ以テ結ブ如何トナレバ其信ヲ
 失ヒシヲ以テノ故ナリ如何トナレバ是其
 平居能ク恩惠ヲ施セシノ故ナリト云フノ類
 若シト云ヘバ片ハ或ハナラバ等ノ接續詞ヲ

以テ結ブ 若シ身ニ幸福アラシトテ願ハ
 若シ此モノナキ片ハ 君若シ歸ルナラバ
 ノ類未ダト云ヘバズ或ハザルト結ブ 天未
 ダ明ケズ 吾曹未ダ曾テ聞カザル所ナリ則
 ト云フ接續詞ヲ以テ上ヲ受クル片ハ何タス
 レバ或ハトキハト云フモノニノ假令バ 諸
 ノ直キヲ舉クル片ハ則 孝慈ナレバ則ト云
 フノ類又前ニ一例アリテ後之ニ類スル例ノ
 アル片ハモマタト云フ接續詞ヲ用キ又唯但
 ト云ヘバノミト受クルモノニノ 但君ノ臣

ヲ擇フノミニアラズ臣モ亦君ヲ擇ブ 帝ニ
 ト云ヘバ何タスルノミナラスト承ク 帝ニ
 信義ヲ失フノミナラスト云フ如シ此等ノ類
 千萬無數ニノ其例勝ゲテ計フ可カラズ故ニ
 唯其重ナルモノヲ舉グルニ過ギズ學者須ラ
 ク之ヲ類推シ苟モ語格ヲ失ハザラントテ要
 ス可シ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 文章, 詞, 結合, 就, 論, 重, 句, 連, 複, 單, 主格, 決定, 動詞, 生命, 短, 類, 又, 復, 個, 以上, 單, 集.

文章學第二篇

文章學トハ詞ノ一致即結合ニ就キテ論ズル所
ノモノナリ而シテ文章トハ詞ヲ重ネ句ヲ連ネ
意義ヲ大成スル所ノ詞ノ集合ヲ云フモノニ
之ヲ別チテ二種トス一ヲ單ト云ヒ二ヲ複ト云
フ
單ナル文章トハ只一個ノ主格及決定ノ動詞ヲ
保有スルモノヲ云フ假令バ 生命ハ短キモノ
ナリ 小兒ハ林檎ヲ嗜ムト云フノ類ナリ
又複ナル文章トハ二個以上ノ單ナル文章ノ集

合セシモノヲ云フ假令バ生命ハ短キモノナ
リト雖氏徳ハ万世ニ存スルモノナリト云フ
ノ類ナリ

此例ニ於キテハ雖ト云フ接續詞ヲ以テニ
個ノ單ナル文章ヲ連續セシモノナリ
又單文ノ全成セシモノハ章中ニ主格持主格
物体格及作動ヲ決定スル動詞ヲ保有スルモ
ノナリ而シテ其動詞ハ主格ノ作動ヲ顯レ物
体格ハ其作動ヲ受テ常ニ動詞ノ前ニアル
ヲ法トス假令バ賢人ハ己ノ情ヲ抑制ス

此例ニ於キテハ賢人ハトハ主格已トハ持
主格ニシテ情ヲト云フ物体格ノ名詞ヲ支配
ス又抑制ストハ主格ノ作動ヲ決定シタル動
詞ニシテ情ヲトハ其作動ヲ受ケタル物体格
ナリ

句ノ種類

句トハ二個以上ノ詞ノ結合ニシテ文章ノ一部
ヲナシ或ハ主格アリテ殆ト單文ノ体ヲナスモ
ノアリ假令バ 棹子ニ坐ス 車前ニ倒ル 甚
タ好カラズ 熟シタル果ハ其味美ナリト云

フノ類ナリ

句ニ三種ノ別アリ單句、雙句、合句、是ナリ單句トハ數個ノ詞ヲ相重ネテ一個ノ意義ヲ構成スルモノヲ云フ假令バ 鳥ハ飛ブ 今日不快ナリト

云フノ類又甲ニ二子アリ、長ヲ幸ト云ヒ、次ヲ

福ト云フ、此類ハ三句ノ連合セシモノナレバ

句々分解スル片ハ悉ク單句トナル

雙句トハ兩句ノ連起スルモノニシテ假令バ

我ハ語ルモ、子ハ聽カズト云フ如シ

合句トハ數個ノ單句ノ合起スルモノニノ心裡

多般ノ意思ヲ組成スルモノヲ云フ假令バ 私

欲ヲ逞ウシ、常ニ不良ノ行ヲ為セバ、終ニ其身

ヲ亡ボスニ至ルト云フノ類ニメ此等ハ三句

ノ合起セシモノナリ

句ノ法

句ニ四法アリ即指示法、命令法、疑問法、接續法、是

ナリ法ハ動詞ノ作動ヨリ生ズルモノナルニ因

テリ法ハ動詞ノ作動ヨリ生ズルモノナルニ因

指令法

此句ハ手指ヲ以テ示スガ如ク直クニ意義ヲ解

キ明スモノヲ云フ假令バ 船ハ能ク水ヲ行ク
天地萬物ハ都ベテ神ノ賜ナリト云フノ類ナ
リ

命令法

此句ハ動詞ノ詞尾ニエ緯ノ假名ヲ取り或ハ他
ノ使令ノ詞ヲ用ウルモノニノ假令バ 我言ヲ
聽ケ 汝去レ 汝ヲ去ラシメズ 茶ヲ飲メ
酒ヲ飲ム勿レト云フノ類ナリ

疑問法

此句ハ指示法ノ語尾ニ疑問副詞即ヤカガ等ヲ

附加シ疑惑シテ問ヲ發スル片ニ用ウルモノニ
ノ假令バ 太郎ハ居ルヤ否ヤ 汝ハ書ヲ讀ミ
得ルカ 汝ノ齡ハ幾何ゾト云フノ類ナリ

接續法

此句ハ兩句ノ間ニ必ズ接續詞ヲ入レ前後ヲ連
續スルモノヲ云フ假令バ 春ハ暖ナレ氏冬ハ
寒シ 安樂ヲ得ント欲スレバ必ズ勤勞スベ
シト云フノ類ナリ

文章ノ種類

文章ノ体ハ概ノ之ヲ言ヘバ論說ト記事トニ過

ギザレ其作意ノ旨向ニ從ヒ尚ホ之ニ直說借
譬等ノ名ヲ命ズ今其例ヲ左ニ掲ク

論說文

論說文トハ己ガ意思ヲ反復辨明スルモノニ
此体ニ二様アリ即直說及ビ借譬是ナリ

直說ノ論說

直說トハ心裡多般ノ意思ヲ直チニ説明スルモ
ノナリ假令バ

夫レ仁義ハ天地ノ道、天地ノ道ハ人ノ道ニシ
テ、人皆此道ヲ受ク、然ルニ外物ノ為メニ、此ヲ

奪ハレ、終ニ其靈ヲ失フニ至ル、豈慎マザル可
ケンヤ

借譬ノ論說文

借譬トハ心裡百般ノ意思ヲ直チニ説明セズ譬
ヲ借リテ論スルモノナリ假令バ

汝等 勉メテ邪教師 邪宗ニ尊クヲ避クヘシ、
宗徒ヲ云フ

外ハ羊ノ如クニシテ、内ハ是豺狼ナリ、汝等若

シ草木ノ果子ヲ結ブヲ看テハ、乃其如何ヲ知

リ得ン、荆棘中豈能ク葡萄ヲ摘マンヤ、蒺藜中

豈能ク無菓花ヲ摘マンヤ、好樹ハ好菓ヲ結ビ

雜草ハ佳蒞ヲ結バズ、凡ソ好果ヲ結バザルノ
樹ハ、伐リテ以テ火中ニ投ゼン、故ニ汝等草木
ヲ看テ、乃邪宗ノ如何ヲ知り得ベシ、

前章ハ皆譬ヲ借リテ入ヲ喻セシモノニシテ
文面上ヨリ之ヲ視レバ甚ダ意義ノ解シ難
キモノナレ氏外羊ノ如クトハ邪教師ノ外
貌柔順ニ似タルヲ云ヒ内是豺狼トハ心ノ
邪惡ナルヲ云フ荆棘、蒺藜、雜草等ハ異端ノ
宗ニ譬フルモノニシテ邪教ノ修ムベカラザ
ルヲ深ク誠メシモノナリ

記事文

記事文トハ他ノ事物ニ就キ其形状及結構等ヲ
叙スルモノニシテ此体モ亦ニ様アリ直説及ビ
借譬是ナリ

直説ノ記事文

屋上ニ青山アリ、屋下流水碧ナリ、花ノ香ハ衣
裳ニ襲キ、竹ノ翠ハ枕席ヲ侵ス、鬱タル新柳ハ
聲ヲ弄シ、テ黄鳥ヲ留メ、塊タル古松ハ自ラ吟
シテ清風ヲ得、四窗ノ高樓林頭ニ聳ヘ、數里ノ
春色眼中ニ落ツ、樓上ニ萬卷ノ藏書アリ、其中

良机軟榻アリテ、一香一茗唯意ノ適スル所ニ
隨フノミ、

前章ハ記事文ニノ地位ノ形状及家屋ノ結
構等ヲ直ニ叙ヘ始終直説ヲ以テ終ヘシモ
ノナリ

借譬ノ記事文

神人曾テ衆人ニ告ゲテ曰、爰ニ人アリ、種子ヲ
地ニ播ケリ、其種子ヲ撒クノ際、落チテ路傍ニ
アルモノハ、鳥雀來リテ之ヲ啄ム、又落チテ瘠
确ノ地ニアルモノハ、其土ノ淺薄ナル故ニ、萌

芽ヲ發スル最モ快シト雖、一タビ之ヲ晒セ
バ根ノ淺キヲ以テ忽チ枯死ス、又落チテ荆棘
中ニアルモノハ、荆棘長茂シテ嫩苗ヲ害ス、又
落チテ沃土ニアルモノハ、繁茂シテ夥多ノ子
粒ヲ結ビ、或ハ百倍ナルアリ、或ハ五十倍ノモ
ノアリト、

前章ニ於キテハ人ヲメ正道ヲ修メシムル
タメ譬ヲ借リテ喻セシモノニノ種子ハ良
心ニ譬ヘ瘠地ハ邪道ニ譬ヘ又荆棘ハ邪惡
ノ良心ヲ害スルニ譬フルモノニメ全篇借

譬ヲ以テ章ヲ終ヘシモノナリ而シテ此一篇ノ主意ハ人常ニ邪惡ヲ避ケ正道ヲ修メザレバ罪惡ニ陥リ終ニ其身ヲ亡ボスニ至リ又能ク天理ニ隨ヒ苟モ邪惡ニ陥リ終ニ其身ヲ亡ボスニ至リ又能ク天理ニ隨ヒ苟モ邪惡ノ念ナキハ安富尊榮ナラント云フナリ

填句法

適當ナル句ヲ以テ次ノ文章ノ缺ヲ填充スベシ
第一例

人々幼稚ノトキヨリ、人慾ノ私ニ克チテ、

禮讓ヲ行フハ

父母ニ

事フル片ハ、孝順ナルベク、長上ニ事フル片ハ、

兄弟ノ友愛アルモ、朋友ノ信

義アルモ、親族ノ協和ナルモ、皆禮讓ヲ以テ本トス、

此例ニ於キテハ第一缺ハ禮讓ヲ行フベシ

第二缺ハ身ヲ立ツルノ原ナリ第三缺ハ孝

養ナルベク第四缺ハ恭敬ナルベシ等ノ句

ヲ填充スルヲ適當ナリトス

第二例

花ハ天地ノ美觀ナリ、古人之ヲ

(凡百ノ花卉、濃淡、大小互ニ異ナリト雖、

各) (殊ニ薔薇、櫻、桃、牡丹、

如キニ至リテハ、) (人工ノ能ク

及ブ、所ニアラズ、實ニ造化ノ妙ヲ觀ルニ足レ

リ、

檢誤法

次ノ文章ノ誤ヲ正フマヘシ

天津神ハ、我ニ性命ヲ與ヘ、我ヲ守リテ、幸福ヲ

與エ賜ハルモノナレ、天ニ代リテ我ヲ養生

スルハ、父母ナリ、サレハ、父母ハ神明ト同ク、恭

イ貴ブベシ、諸事父母ノ命ニ從イテ、逆ウナ

キヲ孝悌ト云フベクナリ

第二例

モシ父母ノ命ニ隨フコトアレバ、神ノ責ヲ受

ケテ、幸ニ合フ、故ニ父母ノ責ハ、我身ノ足ラザ

ルヲ扶助スルモノニシテ、即神命ノ明ナリト

思イ、決シテ睨クベカラズ

作例

文章ハ元來句ノ重積スルヨリ成リ首尾照應宜
キヲ得テ其意義ヲ全成スルモノナリ左ニ洋文
ヲ翻譯セシモノト漢文ヲ和譯セシモノヲ舉ゲ
テ文章ハ皆同一理ナルコトヲ知ラシム

第一例

田中氏小學讀本中ノ文

一婦人其性甚^{指示 双句}タ花ヲ愛マルアリ、孫兒^{指示 合句}ト共ニ、花
園ヲ耘鋤シ、意ヲ注イテ培養セリ、夏季^{指示 單句}既ニ闌ナ
ルニ至リ、百花爛燦^{接續 双句}トシテ、各艷色ヲ呈セザルハ
ナシ、婦人日々之ヲ愛養^{接續 双句}シテ、咎ノ移ル^{第一 段落}ヲ知ラズ

一日兒ト共^{指示 双句}ニ、他ニ出デントス、仍リテ園丁ヲ戒
メテ曰ク^{全上}、汝花園ノ培養ヲ怠ルコトナク、我歸來
スル^{接續 双句}ニ至リテ、其修整ヲ全クスベシト、竟^{指示 單句}ニ家ヲ
去ル^{第二 段落}。或ル日兇暴ノ風アリ、此園ニ來リ、花草ノ修
整セルヲ見テ、私ニ謂フ、此花園ヲ荒亂スルハ、愉
快ナル嬉戲ナリト、仍^{全上}リテ其匪計ヲ行フヘキ術
ヲ考ヘ、腰ヲ屈シ、辭ヲ卑クシ、花卉^{指示 單句}ニ向ヒテ曰ク、
諸君何故ニ、此束縛ヲ受クルヤ、斯ク^{指示 合句}煩苦ヲ受ケ
甘ンジテ忍耐スルハ、奇ナリト謂フ可シ、我^{指示 双句}私ニ
諸君ノ天性ニ悖リ、生長ヲ妨クルヲ嘆ズ、故^{接續 双句}ニ今

小島三三 卷之三 萬葉集

來リテ、我赤心ヲ告グ、諸君^命モ亦其意ヲ語レト、牽^{指示}
牛花^{合句}ハ竿ニ倚リ、石竹ハ瓶裏ニ坐シ、薔薇ハ垣ヲ
擁シ各風ニ問ヒテ曰ク、吾曹ノ生長、何故ニ天性ニ
逆フヤ、日々ニ園丁ノ培養ヲ受ケ、自在ニ生長ス、
我曹花^{全上}ノ美色ナル、負カニ田野ノモノニ優レリ、
若シ^{接続・双句}一日モ園丁ノ培養ヲ欠ク片ハ、疲瘦スルヲ
田野ノモノ、如クナラント、風冷笑シテ曰ク、然^{全上}
ラズ、我田野ノモノヲ見^{指示}ルニ、此ノ如キ拘束ヲ受
クル者アラズ、或ハ地ニ走り、或ハ左右シ、或ハ直
或ハ曲、動作總ベテ意ノ如クナラザルハナシ、然^全

ル^上ニ、此花園ニ生育スルモノハ、一モ園丁ノ苛虐
ヲ免レズ直ナラント欲スレバ、之ヲ曲ゲ、横ハラ
ント欲スレバ、之ヲ豎ニス、是生長ノ天性ニ逆フ
ニ非スヤ、加之兄等ノ枝葉少シク繁茂スレバ、園
丁直ニ葉ヲ刈リ、莖ヲ縛シ、曾テ生長ヲ遂ゲシメ
ズ、固ヨリ^{接続合句}兄等ノ艶麗ナルニ比スレバ、尚少シク
自由ヲ得ベキニ、斯ル苛刻ヲ蒙フルハ、誠ニ大イ
ナル耻辱ナリ、我私ニ兄等ノ為メニ之ヲ憐ムト、
諸花^{全上}稍風ノ説ヲ信シテ曰ク、此事實ニ殘忍ナリ
ト云フ可シ、我曹又園丁ノ苛虐ヲ受クルヲ欲セ

萬葉集 卷之三 二十

スト、風又黄楊樹ニ指示 双句向ヒテ、其枝頭ヲ芟除セラレ
 、ヲ嘲笑シテ曰ク、兄疑問 單句何ノ罪惡アル、僅ニ指示 双句枝葉ヲ
 伸ブレハ、忽チ剪除セラレ、數年ノ間一寸ノ大ナ
 ルヲ得ズ、桎梏ノ指示 双句甚シキ顧フニ之ヨリ苛ナルハ
 ナシ、兄獨リ其疑問 單句畸形ニ耻チズヤト、更ニ指示 合句園中ヲ逍
 遙シ、妄リニ束縛ヲ受クルヲ嘲リ、且傲言シテ曰
 ク、我世上ヲ全上觀ルニ、未ダ此花園ノ如キ極虐ノ拘
 束ヲ受クルヲ第三段落聞カズ、此時ニ至リ、諸花風ノ巧言
 ニ惑溺シ、俄ニ園丁ノ厚恩ヲ忘レ、只管風ノ力ニ藉
 リテ、束縛ヲ免レンコトヲ思ヒ、共ニ深ク懇願ス、風

指示 單句竊ニ謀計ノ成ルヲ喜ビテ曰ク、我能ク指示 双句力ヲ盡シ
 テ諸君ノ合句獨立ヲ助ク可シト、乃相約シ第四段落テ去ル、明
指示 合句且風ハ烈シク花園ヲ施回シ、東ヲ衝キ、西ニ當リ、
 杭ヲ倒シ、條ヲ斷チ、莖幹ヲ顛倒シ花葉ヲ蹂躪シ
 テ、暴動殘ス所ナシ、次指示 合句キテ大雨驟ニ降り、泥ヲ流
 シ、塵ヲ漂ハシ、艶々タル花園一日ノ中ニ變シテ
 亂離タル荊葦場トナリ、百花地ニ伏シ、泥ニ塗レ將
合句サニ局死セントス、因リ指示 單句テ悲歎シテ曰ク、我曾指示
合句テ欺罔ヲ蒙フリ、誤リテ自由ノ態ヲ得ント欲
 シ、終ニ此災厄ヲ致セリ、今ニ至リ再ビ杭ニ登ラ

ト欲スルモ、示得^{結末}ベカラズト、^{大段落}

前章ハ記事文ニシテ全篇借譬ヲ以テ章ヲ終
ヘ五個ノ段落ヨリ成リ而シテ單句ヨリ起ル
アリ或ハ雙句ヨリ起ルアリ又合句ヨリ起ル
アリ句法モ亦屢變シテ一様同等ナラズト雖
氏首尾本未能ク照應セリ又此章ハ花ハ人心
ニ譬ヘ風ハ無頼ノ少年ニ譬ヘ又園丁ハ師父
ニ譬フルモノニシテ少年ノ輩少シク藝術ヲ
得レバ或ハ師父ノ教戒ヲ輕視シ自負ノ私情
ヲ生ズ此時ニ方リテ無頼ノ徒來リテ其心ヲ

挑唆スル片ハ直ニ其說ニ眩惑セラレ師父ノ
訓誡ヲ聽カズ頓ニ羈軛ヲ脱セントテ謀リ之
カ為メニ忽チ零落シテ其身ノ衰廢ヲ招クニ
至ル恰モ魔風來リテ花草ヲ誘惑スルニ異ナ
ラズト云フ意ナリ又前章中一婦人其性甚々
花ヲ愛スルアリトハ直チニ其状態ヲ説明シ
二句相連起スル故ニ之ヲ指示雙句ト云ヒ又
孫兒ト共ニ花園ヲ耘耨シ、意ヲ注イテ培養セ
リトハ二句以上ノ合起スルヲ以テ合句ト云
フ夏季既ニ闌ナルニ至リトハ他句ニ關係セ

サルヲ以テ單句ト云ヒ百花爛燦トシテ各艷
 色ヲ呈セサルハナシト云ヒ又婦人日々之ヲ
 愛養ンテ、智ノ移ルヲ知ラズト云フノ類ハ皆
 兩句ノ間ニ接續詞ヲ置キ上下ヲ連續スル故
 三之ヲ接續雙句ト云フ他ハ皆之ニ倣フ然レ
 ドモ雙句ト合句トハ甚タ分別シ難キニ似タ
 レ氏雙句ハ唯意ハ二句ニノミ關スルモノヲ
 云ヒ合句ハ意ノ數句ニ關涉スルモノヲ云フ
 ナリ
 句點ハ總マテ一個ノ意義ヲ構成シ一句トナ

リ或ハ副詞ノ句狀ヲナスモノニ附スルモノ
 ナリ假令バ 奇ナリト謂フ可シ、 然ルニ
 一般ニ 否ナ然ヲズ、 甚タ多クシテ、 須臾
 ニシテ、等ニ於ケルガ如シ又第一段落第二段
 落トハ一章中意趣ノ小成セシヲ言ヒ結末大
 段落トハ一篇ノ意趣ヲ大成セシヲ云フナリ

第二例

韓退之雜說

世ニ伯樂^{接續句}アリテ然ウシテ後千里ノ馬^{第一段落}アリ千里
 ノ馬ハ常ニ有^{接續句}レ氏、而モ伯樂ハ常ニアラズ、故ニ

名馬アリト雖接續合句氏祗々奴隸ノ手ニ辱メラレ、槽檻
 ノ間ニ駢死シテ、千里ヲ以テ稱セラレザルナリ第二段落
 馬ノ千里ナルモノハ、一食ニ或ハ粟一石ヲ盡ス、
 馬ヲ食フモノ其能ノ千里ナルヲ知リテ食ハザ第三段落
 ルナリ是馬ヤ千里ノ能アリト雖氏、食飽カズ、力
 足ラザレバ、才ノ美外ニ見ハレズ、且常馬ト等シ接續合句
 カラント欲スレ氏、得ベカラズ、安ニゾ其能ノ千疑問單句
 里ナルヲ求メ第四段落ンヤ之ヲ策ツ其道ヲ以セズ、之ヲ
 食フモ其材ヲ盡ス能ハズ、之ニ鳴ク氏、其意ニ通接續合句
 ズル能ハズ、策ヲ執リテ而メ之ニ臨ミテ曰ク、天伯樂ハ

常ニラト照應ス第五段落
 下良馬ナシト鳴呼其レ真ニ馬ナキカ其レ真ニ
 馬ヲ識ラサルカ、
 此章ハ論説文ニメ全篇借譬ヲ以テ終ヘ千里
 ノ馬ハ賢材ニ譬ヘ伯樂ハ人ヲ知ルモノニ譬
 フ食フ策ツ等ハ其賢ヲ遇スルノ法ヲ云フモ
 ノニメ五個ノ段落ヨリ成ル然レ氏句々分解
 スル片ハ各其状ヲ異ニス又此篇ノ主意ハ英
 雄豪傑必ズ知己ニ遇フモノハ之ヲ尊ブニ高
 爵ヲ以テシ之ヲ食フニ厚祿ヲ以テシ之ニ任
 スルニ重權ヲ以テメ其材斯ノ如クニシテ以

小學文法書 卷之三 廿四 萬葉集卷之四

テ展布スベシト云フナリ
 第一段ハ二句相連起シ中間ニ接續詞ヲ置キ
 接續雙句ヨリ成ルモノニメ第二段ハ語ヲ轉
 シテ意ヲ續キタル雙句及一個ノ合句ヨリ成
 ル第三段ハ別ニ句法ヲ變ゼズ一個ノ合句ヨ
 リ成リ第四段ハ屢句法ヲ變ジ合句、雙句、單句
 ヨリ成リ第五段ハ始メ指示合句ヨリ起リ次
 接續雙句ヲ以テシ次ニ指示雙句ヲ以テ終フ
 大尾ニ至リテハ疑問ノ雙句、慨嘆ヲ以テ全篇
 ヲ結ビシモノナリ

左ノ文章ニ於キテ句ノ種類、段落、照應及文體等ヲ
 分解シ且句点ヲ附シ又文意ヲ講解スヘシ

小學讀本中ノ文
 第一例

抑昇平無事ノ世ニ生レ安樂鼓腹シテ妻子ヲ養
 育スルコトヲ得ルモノハ聖諭ヲ奉戴シ國法ニ
 從順シ仁義ノ道ヲ離ルベカラス慎ミテ教令ノ
 旨ヲ守リ各其分ニ安ンジ其業ヲ勤メテ其親ヲ
 親シミ衆ヲ愛スルトキハ求メズシテ幸福ヲ得
 ベシ

第二例

今世上ニ富貴ナル人ト貧賤ナル人アリ此人ノ
 智識ト行トヲ見レバ富貴ナル人ハ智識モ開ケ
 テ行モ亦甚タ正シコレ皆少年ノトキ必ズ勉強
 シタルモノナリ又貧賤トナル人ハ智識モナク
 行モ正シカシズコレ皆少年ノ片ヨリ勉強セザ
 ル故ナリサレバ人トシテ幼少ノ片師ノ教ニ從
 事シテ道ヲ聞キ一身一家ヲ立ツルコトヲ學ブ
 ベシ怠惰ニシテ學バザル片ハ遂ニ困窮貧苦シ
 テ生涯安樂ノ時ナシ

第三例

貪慾ノ念ヲ肆ニスルコトナカレ忿怒ノ心ヲ逞
 ウスルコトナカレ實ニ貪慾ノ念アリ忿怒ノ心ア
 ル片ハ事ヲ行ヒ業ヲ務ムルニ當リ惑溺シテ正
 路ヲ得ルノ能ハズ貪慾ハ私情ノ惑ヒニシテ此
 念ヲ絶タザル片ハ遂ニ殘酷ノ人トナル忿怒ハ
 一時ノ狂疾ニシテ此心ヲ抑ヘザル片ハ遂ニ爭
 鬪ノ端ヲ開クモノナリ必竟皆幼稚ノトキヨリ
 已ニ克ツコト能ハザルニ由ル此故ニ須臾モ禮
 讓ノ心ヲ失フベカラズ

第四例

西經譯文

真神天地萬物ヲ創造シ然シテ後土ヲ拿リテ一
 個ノ偶人ヲ造成シ己ノ靈氣ヲ吹キテ其鼻孔ニ
 入レシニ其偶人忽チ精神ヲ具有シ活動スルニ
 至レリ是即人民ノ高祖父ニメ名ヅケテ亞當ト
 云フ真神之ヲメ埃田ノ園園中ニ住居セシム園
 中ニ四條ノ河アリ也タ許多ノ樹木ノ好果ヲ結
 ブモノアリ真神走獸ニ命シ亞當ニ處ニ到ラシ
 メ亞當ヲメ隨意ニ之ニ名ヲ命セシム是ニ於キテ

真神亞當ヲノ説話ヲナスコトヲ學バシメ又禽獸
 ト魚類トヲ合シテ之ヲ管セシム然リト雖凡時
 ニ亞當未ダ配偶アラズ又他ニ人ナキヲ以テ説
 話ヲナスコト能ハズ是ニ於キテ真神亞當ヲノ熟睡
 セシメ其筋骨一條ヲ抽出シ更ニ一個ノ女ヲ造
 成シ以テ亞當ニ配ス是即高祖母ニメ名ツケテ
 夏娃ト云フ現今宇内ニ生活スル人民ハ悉ク此
 子孫ニアラザルモノナシト云フ

第五例

史畧中ノ文

後陽成天皇ハ誠仁親王ノ御子ニシテ正親町天皇ノ皇孫ナリ秀吉天下ヲ戡定シ後兵ヲ海外ニ出シテ朝鮮ヲ伐キ且ツ明ノ援兵ヲ破ル明主和ヲ講ス秀吉其書ノ無禮ナルヲ怒リ使ヲ逐ヒ還シ再ヒ朝鮮ヲ攻ム會々秀吉疾ニ嬰リ薨ス是ニ於キテ兵ヲ解キ諸將ヲ召シ還ス徳川家康前田利家等秀吉ノ遺命ヲ奉シテ其子秀頼ヲ輔佐ス後盟約破レ家康石田三成等ト關ヶ原ニ戰ヒテ大イニ之ニ勝ツ天下悉ク家康ニ歸ス是ニ於キテ家康ヲ以テ大將軍トス既ニシテ家康職ヲ辭ス

其子秀忠ヲ大將軍トスコレヨリ徳川氏世々繼キテ大將軍タリ府ヲ江戸ニ開キ諸侯ヲノ參勤セシム

第六例

羅馬史譯文

西羅馬國ノ滅亡スルニ及ビテ歐羅巴全國ノ騷擾動亂古來未ダ聞カザル所ノ狀勢ヲ為スニ至レリ故ニ其豪雄ト稱スル者ハ皆獷悍ノ夷民ニシテ各凶器ヲ執リテ殘殺搶掠至ラザル所ナシ是ニ於キテ東ハ來^{ライ}因^{イン}河ヨリ西ハ亞^ア篤^ト蘭^{ラン}的^チ昔^ク洋

ニ至リ北ハ貌利太尼亞ヨリ南ハ西齊里島ニ至
 ルマテノ名都大邑一變シテ瓦礫ノ場ト為リ名
 工奇作盡ク破壊シ田野荒蕪シ交際ノ道全ク斷
 絶ス天下ノ人皆謂ヘラク世界ノ淪滅已ニ近キ
 ニ在ラント此時ニ當リ天更ニ新民ヲ生ジ以テ
 腐壞セル羅馬ノ舊民ニ換ヘ七國ノ遺墟ニ新國
 ヲ建立シ以テ今日ノ基業ヲ開キシハ恰モ暴風迅
 雨ノ後ニ雲間ヨリ太陽其光輝ヲ放射セルカ如
 クナリ

小學文法書卷之下 終

明治十二年一月廿一日 版權免許
 同 一月廿日 出版

定價金七十五錢

編者

福島縣平民

中島

操

岩代國耶麻郡猪苗代町住
 下埜國都賀郡柘木町寄前

出版人

柘木縣平民

菅谷甚平

下野國都賀郡柘木町住

